



2019
年度

最終報告書

はたらくふくおか実行委員会

(NPO 法人九州コミュニティ研究所、株式会社ジェイコム九州、福岡市 産学連携課)

(1) 共働のきっかけ・必要性

はたらくふくおか実行委員会は、NPO 法人九州コミュニティ研究所(以下、CRIK)、株式会社ジェイコム九州(以下、ジェイコム)、福岡市経済観光文化局 産学連携課(以下、産学連携課)の3者共働で運営しています。民間組織が持つ企画力・デザイン力・コンテンツ制作等の専門スキルと、福岡市が持つネットワークおよび情報リソースを掛け合わせることで、福岡の学生に向け、浸透度の高い情報提供を効果的に実施できると考えました。



事業を提案した理由(CRIKとジェイコム)

事業提案にあたっては、大きく2つの理由があり、1つは新卒社員のネガティブな理由による離職の抑制、もう1つは地元企業の適切なPRを行うことによる採用・就職活動の選択肢を増やすことです。CRIK、ジェイコムともに、さまざまな地元企業やNPOなどへの取材などを通して、福岡市内に多様な職種・就職環境があることを感じているものの、学生には大手企業以外の情報はなかなか伝わっていないのではという感触がありました。もし、学生が就職活動を始める前に、いろんな価値観の企業があることを伝えられたら、「自分の考え方に合いそうな企業」について考えるきっかけが生まれ、「入ってみたい想像していた姿と違う」といったネガティブな理由での離職を減らせるかもしれないと考え、提案に至りました。

産学連携課がこの事業に取り組む理由

当課では、2018年度まで「大学ネットワークふくおか」という、福岡都市圏19大学、福岡商工会議所、福岡市で構成される組織の事務局を担っていました。また、2019年度には「福岡未来創造プラットフォーム」として生まれ変わり、福岡都市圏15大学と産業界、福岡市の共同で誰もが学び活躍できるプログラムの開発を進めています。この活動の通り、大学生の活動支援等が課の目的であるため、当事業は親和性が高く、取り組む意義があると感じました。成果物は、加盟大学等を通じ、広範囲の大学生に広報することが可能です。また、福岡商工会議所も会員であるため地元企業の意見も反映したコンテンツ作成を期待できると考えました。

(2) 事業の目的

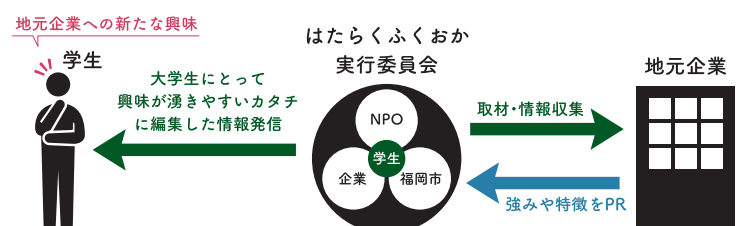
福岡の大学で学ぶ大学生=大切な人材に向けて、「福岡に定着(就職)したくなる情報」を届けることを目的とします。福岡の地元企業の「はたらく現場」をリアルに感じられる情報提供を行い、未来の自分を想像してもらう機会をつくり、福岡での就職に前向きになることを目指します。

福岡で活躍されている中小企業にスポットを当てた情報収集・発信に力を入れることで、大手企業がクローズアップされやすい就職のシーンに、福岡ならではの企業や職種の存在をPRすることで、多様な選択肢がある就職環境の創出、市内大学生等の福岡への定着促進を図ります。

就職関係の情報の伝わり方(現状)



「はたらくふくおか」が目指すもの



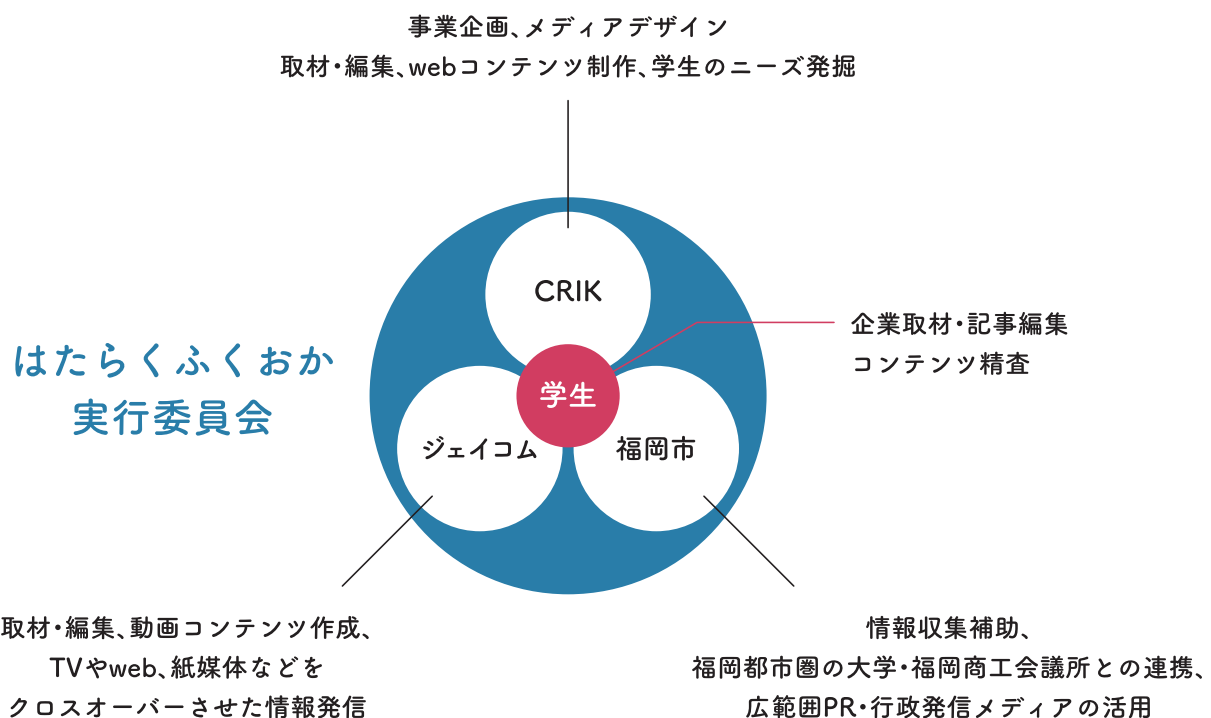
(3) 事業目標

さまざまな仕事に興味を持ったり、身近な福岡の企業について知るきっかけをつくり、就職活動が始まる“前”に、「この仕事に挑戦してみたい!」と思える仕事に出会える大学生を増やすことを目指します。また、福岡の学生に興味を持ってもらいたい企業にとっても、制作したコンテンツを活用いただくことで、これまでと異なる視点で自社をPRすることができ、新しいマッチングの可能性が生まれると考えています。

成果の把握については、主にアンケートとヒアリングにて行いました。制作したコンテンツの主な対象者である大学生から直接意見をもらい、「福岡の企業に興味が出たかどうか」「職業観に変化があったか」等を把握します。地元にて特化した企業情報の発信を目的としているため、福岡の大学生からの意見を重要視した成果指標としました。

成果指標	手法・対象	目標数値
web サイトの閲覧ユーザー数やページビュー	Web サイト内にアクセスカウンターを設置	2017 年度…2,000 人／年 2018 年度…4,000 人／年 2019 年度…6,000 人／年
福岡の企業への就職に対する意識向上者の割合 (大学生アンケート対象者)	事業に関わってくれた大学生に、事業内容と自身の職業観への変化についてアンケートを実施	意識向上者 70% 以上
取材企業向けにヒアリング等を行いコンテンツの満足度(魅力をPRできたかどうか)を調査	取材先企業に、掲載内容の満足度についてヒアリング等を実施	満足度 70% 以上

(4) 役割分担



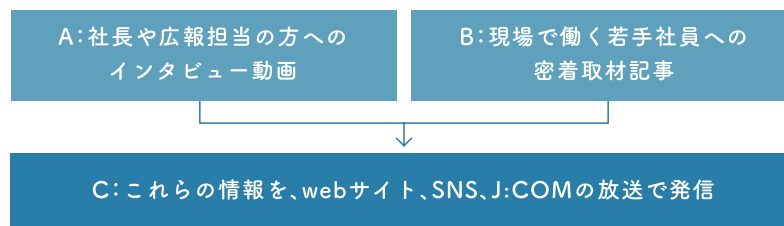
(5) 事業概要

当事業のアウトプット① はたらく喜びや多様な職業観を学生目線で伝える web サイト及びそのコンテンツ

福岡の企業で働く現役の方々を、web サイト上の動画や記事コンテンツで発信し、仕事への興味の入り口をつくります。また、動画コンテンツは、web サイトだけでなく、J:COMのコミュニティチャンネル(視聴無料)での放送を行いました。

コンテンツの制作には、メインターゲットでもある大学生に編集部メンバー(以下、大学生編集部)として関わっていただきました。大学生に「情報を受け取る」だけでなく、「情報を集めて発信する」側になってもらうことで、より多くの学生に共感してもらえる内容になると考えました。大学生編集部メンバーの募集は、福岡市HPでの公募や、大学ネットワークふくおか等を通じて行いました。

サイトコンテンツ概要



A:会社の理念を伝えられる方へのインタビュー動画

大学生とともに、企業を訪問し、仕事(職業)について、一問一答形式のインタビューを実施し、動画で撮影します。ここでお願いしたいのは、企業の代表者や責任者、広報担当など、会社の歴史や理念などを十分に伝えられる方とさせていただきます。

B:先輩から話を聞いているようなインタビュー記事

若手社員の方にもインタビューを実施しました。先輩の話を聞いているような雰囲気、代表者や責任者と異なった視点、より学生目線に近いところで、会社や仕事の魅力を伝えていきます。メインインタビューは、大学生編集部です。ポイントとしては、「仕事のツライところ」などのリアルな声も合わせて聞くよう意識しました。その上で「それを踏まえてでも今の会社にいる理由や、何にも代えがたい喜び」を聞くことが、就職後にギャップを感じ離職してしまうことの抑制につながると考えているためです。このコンテンツは、文章や写真をベースとしたwebの記事として公開しました。

当事業のアウトプット② 大学生が福岡の企業で働く方と出会い話す交流会

web サイトでは多数の学生に向けて、まず福岡の企業を「知る」機会の増加を目指しました。それに加え、さらに地元企業への「興味を深める」機会として、福岡の企業で働いている社会人の方々と直接話してみる交流会を企画します。交流会は、編集部に登録いただいたメンバー限定ではなく、オープンに参加者を募りました。また、参加条件には学年の制限もなくし、「就職活動に直結する企業との接点」というかきこまった雰囲気ではなく、「働いている方の話を聞いてみたい」という学生の純粋な興味に応える雰囲気づくりを大切に、実施しました。参加いただいた社会人のみなさまは、web サイトで掲載した企業の方々です。

(6) 3年間の実施内容

準備段階

2017年 4月～6月

スタッフ ● **実行委員会の立ち上げ、総会の開催**

スタッフ ● **プロジェクトロゴの作成**

「a」のフォルムは、虫眼鏡やフキダシがモチーフです。情報を探したり、共有・拡散する様子を表現しました。文字がところどころに伸びているのは、学生の興味が多方面に広がるという意味合いを込めています。

スタッフ ● **取材希望企業および大学生編集部の募集**

福岡市ホームページ内に、特設ページを開設し、取材を受け入れていただく企業と、取材に行きたい大学生を同時に募集しました。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/r-support/business/hataraku-f.html>

スタッフ & 大学生 ● **大学生編集部向け事業説明会の開催(3回)**

プロジェクト参加を検討する学生向けに、事業概要および、制作内容、期待することを伝えるための説明会を開催しました。全3回で20名の参加があり、うち19名の学生が編集部への参加を希望してくれました。

Find your future in Fukuoka!

Hataraku Fukuoka
はたらく ふくおか

▲プロジェクトロゴ



▲募集ページ



▲説明会チラシ

取材・記事制作

2017年7月～2018年3月

スタッフ ● **取材企業との日程・内容調整**

取材させていただく企業とは、必ず事前調整を行います。企業の特徴的な部分やPRポイントについて、スタッフが事前ヒアリングを行い、学生が質問を考える際にその情報を提供しました。

スタッフ & 大学生 ● **大学生編集部メンバーとの事前調整**

大学生編集部の参加は、1社あたり1～2名としており、企業との日程調整のうえ、希望者を募りました(希望者多数の場合、抽選)。取材に行くことが決まった大学生とは、取材前に打ち合わせを行い、質問内容の準備やシミュレーション、名刺交換の練習などを行いました。

スタッフ & 大学生 & 企業 ● **取材の実施**

取材当日は、共働3者のスタッフと、大学生編集部で企業を訪問しました。取材の細かなスケジュールや流れは、受入企業によって異なりますが、基本的には「社長へのインタビュー」と「若手社員への密着取材」は同日に行いました。

スタッフ & 大学生 ● **大学生編集部との記事制作**

若手社員への密着取材記事については、記事の制作も、大学生編集部とともに進めます。実際に取材に行った学生とともに、印象に残ったセリフなどをピックアップし、大学生目線で興味が湧く内容に仕上げていきます。



▲質問内容を考える大学生編集部メンバー



▲取材当日の様子、はたらく現場も見せていただきます



▲印象に残った箇所を記事にまとめます

スタッフ 動画コンテンツの編集

撮影した社長へのインタビュー動画は、イントロとなる会社紹介を含め、計5分に編集を行いました。当日インタビューした内容の中でも、社風や特徴が伝わってくる質問をピックアップし、紹介しています。
この動画は、はたらくふくおかのWEBサイトをはじめ、J:COMチャンネルでの放送、YouTubeでの閲覧も可能となっています。

スタッフ WEBサイトへのアップロード

大学生編集部とともに作成した記事および、インタビュー動画は、編集後に取材企業への内容確認を取り、はたらくふくおかのWEBサイトにアップロードしました。

2017年度 取材企業一覧(7社)

- 01 株式会社 マルタイ
- 02 BLUE ZOO 有限会社(パンダタクシー)
- 03 株式会社 秀電社
- 04 福岡大同青果 株式会社
- 05 株式会社 三立鑑定
- 06 株式会社 アドコムソフト
- 07 株式会社 喜多村石油店



▲社長インタビューの風景(株式会社マルタイ)



▲社長インタビューの風景(有限会社BLUE ZOO)

webサイト制作・運用

2017年6月～2018年3月

スタッフ facebook ページ作成

プロジェクトスタートに合わせて、2017年4月18日に「はたらくふくおか」のfacebookページを開設し、運用を開始しました。2018年3月31日時点でのfacebookページへのいいね!は96件となりました。

<https://www.facebook.com/hataraku.f/>



▲facebook ページ イメージ

スタッフ はたらくふくおか WEBサイト制作

今回の取材内容を紹介するプラットフォームとなるwebサイトは、2017年10月16日にオープン。レスポンシブデザインで構成しており、スマートフォンなどのデバイスからでも、最適化された状態で表示されます。(イメージは次頁)

<http://hataraku-f.jp>

スタッフ YouTubeチャンネル作成

サイト内で紹介している社長のインタビュー動画は、YouTubeにアップした上で、リンクを埋め込んでいます。YouTubeでの閲覧ができ、動画の一元管理も可能なため、YouTubeチャンネルを開設しました。運用は、10月14日から開始しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCukLjx6qyuJbeNE5uAF72Q/>



▲YouTubeチャンネル イメージ

スタッフ

サイト紹介カード&チラシ作成

大学生にwebサイトを知ってもらうきっかけとなる紙媒体の広報ツールを作成しました。大学ネットワークふくおか関連のイベント時や、就職説明会での配布、各大学の就職支援課などへの配架も行いました。



▲はたらくふくおか紹介カード(名刺サイズ・両面)

「はたらくふくおか」って?

これは、「福岡の大学生」が「福岡の地元企業」を訪ね、社長と若手社員に直接インタビューしてみるプロジェクトです。そして、聞いた内容を動画と記事に編集し、アップしています。
福岡にどんな企業があるのか、どんな働き方があるのか、就職活動って何なのか...。そんなモヤモヤをお持ちでないですか? ぜひ、働く先輩方のお話を参考にしてみてください。
福岡で働きたいと思っている人はもちろん、そうでない方にもオススメです。あなたの職業観が広がるきっかけになるかもしれません。アクセスお待ちしております。

「はたらくふくおか」は、NPO法人九州コミュニティ研究所、株式会社ジェイコム九州、福岡市創業・大学連携課の3者共働で運営し、有志の大学生とともに情報収集&編集を行っています。



▲はたらくふくおか紹介チラシ

はたらくふくおか WEBサイトイメージ



▲TOPページ イメージ



▲各社記事ページ イメージ

準備段階 2018年 4月～6月

スタッフ 実行委員会 総会の開催

スタッフ&企業 取材希望企業の募集

福岡市ホームページ内に、特設ページを開設し、取材を受け入れていただく企業を募集しました。また、福岡商工会議所のメルマガや会報誌にも、企業募集の旨を掲載していただき、地元企業への周知をはかりました。取材企業7社に対し、16社からのお申し込みをいただきました。

【取材決定企業】 * 50音順

- 社会福祉法人 明日へ向かって
- アトム株式会社
- 株式会社カンサイホールディングス
- 株式会社GSタカハシ
- 鳥越製粉株式会社
- 株式会社ヤマップ
- 株式会社ラップ



▲商工会会報誌 原稿



▲出演企業募集ページ

大学生募集 2018年6月～7月

スタッフ&大学生 大学生編集部向け事業説明会の開催

プロジェクト参加を検討する学生向けに、事業概要および、制作内容、期待することを伝えるための説明会を開催しました。全7回実施し、合計21名の大学生が編集部への参加を希望してくれました。また2018年度は、新たな取り組みとして、大学と連携をとり、研究室単位での出張説明会も実施しました。



▲大学生編集部メンバー募集チラシ

交流会実施 2018年8月

スタッフ&大学生&企業 取材企業×大学生 交流会の開催

2018年度初の取り組みとして、取材企業と大学生の「出会いと学び」をテーマとした交流会を開催しました。昨年度は、大学生にとって、取材に何う企業しか接点がなかったですが、この交流会を実施することで、それ以外の企業についても、その仕事や働き方を知ることができました。

また、企業の目線から見ても、2017年度に比較し、多くの学生との接点が生まれたことで、企業PRや今後の取材でのポイントなどを伝えていただく機会となりました。交流会には、合計25名の大学生と、6社の企業にご参加いただきました。(取材企業の1社は、当日ご都合のため、欠席となりました)



▲交流会の様子、活発なコミュニケーションが生まれました



▲であい＆まなびの交流会チラシ

取材・記事制作

2018年10月～2019年3月

スタッフ&
企業

取材企業との日程・内容調整

取材させていただく企業とは、必ず事前調整を行います。企業の特徴的な部分やPRポイントについては、スタッフが事前にアンケートやヒアリングを行い、学生が質問を考える際にその情報を提供しました。

スタッフ&
大学生

大学生編集部メンバーとの事前調整

大学生編集部の参加は、1社あたり1～2名としており、企業との日程調整のうえ、希望者を募りました。取材に行くことが決まった大学生とは、取材前に打ち合わせを行い、質問内容の準備やシミュレーション、名刺交換の練習などを行いました。

スタッフ&
大学生&
企業

取材の実施

取材当日は、共働3者のスタッフと、大学生編集部で企業を訪問しました。取材の細かなスケジュールや流れは、受入企業によって異なりますが、「社長（広報担当）へのインタビュー」と「若手社員への密着取材」は同日に行いました。

スタッフ&
大学生

大学生編集部との記事制作

若手社員への密着取材記事については、記事の制作も、大学生編集部とともに行います。実際に取材に行った学生とともに、印象に残ったセリフなどをピックアップし、大学生目線で興味が湧く内容に仕上げていきます。

スタッフ

動画コンテンツの編集・公開

撮影した社長へのインタビュー動画は、イントロとなる会社紹介を含め、計5分に編集。当日インタビューした内容の中でも、社風や特徴が伝わってくる質問をピックアップし、紹介しています。動画は、WEBサイトをはじめ、J:COMチャンネルでの放送、YouTubeでの閲覧も可能です。

スタッフ

WEBサイトへのアップロード

大学生編集部とともに作成した記事および、インタビュー動画は、編集後に取材企業への内容確認を取り、はたらくふくおかのWEBサイトへアップロードしました。

スタッフ

企業・編集部向けアンケート実施

記事公開後は、取材内容についてのアンケートを実施しました。記事の満足度や、実際に内容を見て福岡の企業に興味を沸かしたかなど、今後の記事更新に向けての参考意見をいただきました。



▲質問内容を考える大学生編集部メンバー



▲取材当日の様子、会社見学など



▲社長インタビューの風景(アトム株式会社)



▲若手社員インタビューの風景(鳥越製粉株式会社)



▲全文起こしから印象に残った箇所を記事にまとめる

2018年度 取材企業一覧(7社)

- 01 株式会社ラップ
- 02 社会福祉法人 明日へ向かって
- 03 鳥越製粉株式会社
- 04 株式会社カンサイホールディングス
- 05 株式会社ヤマップ
- 06 株式会社GSタカハシ
- 07 アトム株式会社

市内大学生向けアンケート

2018年12月～2019年2月

スタッフ

web サイトについての印象調査

webサイトのブラッシュアップを目的に、編集部登録学生以外にも、アンケートを実施しました。サイトの印象やコンテンツの中身について、webアンケートにて尋ねました。
福岡都市圏の19大学にアンケートを依頼。不特定多数の大学生にはたらくふくおかのwebサイトを閲覧していただいたのち、回答いただきました。
(アンケート回答数:158件)



2018年度 更新後のweb サイトイメージ



準備段階

2019年 4月～6月

スタッフ

実行委員会 総会の開催

スタッフ & 企業

取材希望企業の募集

福岡市ホームページ内に、特設ページを開設し、取材を受け入れていただく企業を募集しました。また、福岡商工会議所のメルマガや会報誌にも、企業募集の旨を掲載していただき、地元企業への周知をはかりました。2019年度は6社の取材を行いました。

【取材決定企業】 * 50音順

- 株式会社アカツキ福岡
- 株式会社エスティ環境設計研究所
- 株式会社エルテックス・ヨシダ
- 株式会社キシヤ
- 株式会社ベガコーポレーション
- LINE Fukuoka株式会社

大学生募集

2019年5～6月

スタッフ & 大学生

大学生編集部向け事業説明会の開催

プロジェクト参加を検討する学生向けに、事業概要および、制作内容、期待することを伝えるための説明会を開催しました。合同説明会を3回、個別日程での説明会を4回実施し、2019年度は、合計30名の大学生が編集部への参加を希望してくれました。1年目、2年目から引き続き参加してくれている大学生もいます。

第1回交流会実施

2019年6月27日

スタッフ & 大学生 & 企業

取材企業×大学生 交流会の開催

昨年度も好評であった、取材企業と大学生の「出会いと学び」をテーマとした交流会を開催しました。昨年度は、大学生にとって、取材に何う企業しか接点が無かったのですが、この交流会を実施することで、それ以外の企業についても、その仕事や働き方を知ることができました。また、企業の目線から見ても、昨年度に比較し、多くの学生との接点が生まれたことで、企業PRや今後の取材でのポイントなどを伝えていただく機会となりました。交流会には、合計21名の大学生と、6社の企業(8名)にご参加いただきました。また、当日の様子は、J:COMのコミュニティチャンネルのニュース内で取り上げていただきました。

交流会の詳細情報

【会場】福岡商工会議所 2階 第2研修室

【内容】(1)会社概要 紹介ショートプレゼン(3分×6社)

(2)各テーブルに分かれて、会社紹介の続き&学生からの質問
> 1チーム3、4名で15分×6回



▲大学生編集部募集チラシ



▲交流会の様子、企業プレゼンと各テーブルでの対話

取材・記事制作

2019年7月～11月

スタッフ&
企業

取材企業との日程・内容調整

取材させていただく企業とは、必ず事前調整を行います。企業の特徴的な部分やPRポイントについては、スタッフが事前にアンケートやヒアリングを行い、学生が質問を考える際にその情報を提供しました。

スタッフ&
大学生

大学生編集部メンバーとの事前調整

大学生編集部の参加は、1社あたり1～2名としており、企業との日程調整のうえ、希望者を募りました。取材に行くことが決まった大学生とは、取材前に打ち合わせを行い、質問内容の準備やシミュレーション、名刺交換の練習などを行いました。

スタッフ&
大学生&
企業

取材の実施

取材当日は、共働3者のスタッフと、大学生編集部で企業を訪問しました。取材の細かなスケジュールや流れは、受入企業によって異なりますが、「社長（広報担当）へのインタビュー」と「若手社員への密着取材」は同日に行いました。

スタッフ&
大学生

大学生編集部との記事制作

若手社員への密着取材記事については、記事の制作も、大学生編集部とともに行います。実際に取材に行った学生とともに、印象に残ったセリフなどをピックアップし、大学生目線で興味・関心が湧く内容に仕上げていきます。

スタッフ

動画コンテンツの編集・公開

撮影した社長へのインタビュー動画は、イントロとなる会社紹介を含め、計5分に編集。当日インタビューした内容の中でも、社風や特徴が伝わってくる質問をピックアップし、紹介しています。動画は、WEBサイトをはじめ、J:COMチャンネルでの放送、YouTubeでの閲覧も可能です。

スタッフ

WEBサイトへのアップロード

大学生編集部とともに作成した記事および、インタビュー動画は、編集後に取材企業への内容確認を取り、はたらくふくおかのWEBサイトへアップロードしました。

スタッフ

企業・編集部向けアンケート実施

今後は、取材内容についてのアンケートを実施します。記事の満足度や、実際に内容を見て福岡の企業に興味・関心が沸いたかなど、記事や取組についての参考意見をいただきました。



▲取材当日の様子、社内のいろんな場所で取材



▲インタビュー風景（株式会社キシャ）



▲インタビュー風景（株式会社ベガコーポレーション）



▲第2回交流会での参加企業紹介

第2回交流会実施

2019年12月13日

スタッフ&
大学生&
企業

取材企業×大学生 交流会の開催

2019年度は計2回の交流会を行いました。第1回の参加企業に加え、過去に取材した企業等にも声掛けを行い参加企業を増やし、より多様な企業の方々とコミュニケーションが取れる機会を目指しました。36名の学生が参加した交流会は直接対面で話せるチャンスであり、記事で読んだ内容やその企業の雰囲気より深く実感することにつながりました。



▲会場はLINE Fukuoka をお借りしました

市内大学生向けアンケート

2019年11月～12月

スタッフ

webサイトについての印象調査

webサイトのブラッシュアップを目的に、編集部の登録学生以外にも、アンケートを実施しました。サイトの印象やコンテンツの中身について、webアンケートにて尋ねました。

福岡都市圏の15大学にアンケートを依頼。不特定多数の大学生にはたらくふくおかのwebサイトを閲覧していただいたのち、回答いただきました。(アンケート回答数:208件)

はたらくふくおか 大学生向けアンケート

【利用時間5～10分程度】 <https://hataraku-f.jp>
福岡市共働事業推進制度 採択事業「はたらくふくおか」の事業内容向上のためのアンケートです。
福岡の大学生に、より有益な地元企業情報を提供するため、ご協力をよろしくお願いいたします。

※入力いただいた情報は、厳重に管理し、「はたらくふくおか」に関連する目的以外では使用いたしません。

大学名 *

- ☐ 九州産業大学
☐ 九州大学

編集部学生向け総括アンケート

2020年3月

スタッフ

事業参加での変化の実態を調査

2017～2019年度の3年間で、編集部として「はたらくふくおか」に関わってくれた大学生を対象に追跡調査を行いました。事業に参加したことで、自分自身の就職活動や意識に変化はあったか、福岡の企業への興味関心は深まったか、またエントリーやインターンシップへの参加など、具体的にアクションを起こしたか、などの項目を調査しました。

(アンケート回答数:26件)

はたらくふくおか最終アンケート（編集部メンバー・交流会参加者向け）

2017年からスタートした「はたらくふくおか（<https://hataraku-f.jp>）」ですが、2020年3月をもって、事業終了となります。（webサイトは2020年8月まで運営予定）
編集部として積極的に関わっていただいた皆さまや、交流会にご参加いただいた皆さまのおかげで、合計20社の記事・動画を公開することができました。本当にありがとうございます。

この事業の総括として、最後に3年間の成果を把握し、来年度以降の事業展開の参考にさせていただきますと考えています。
大学生の方にとっては春休みで、もう社会人の方にとっては年度末の忙しい時期に恐縮ですが、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。（所要時間：3分程度、回答締切：3月30日）

*必須

お名前 *

回答を入力

①：「はたらくふくおか」のwebサイトを見て、あなたの就職活動に変化があったか教えてください。（複数回答あり）*

- ☐ 掲載企業に就職した
☐ 掲載企業にエントリーした
☐ 掲載企業の説明会などに参加した
☐ 掲載企業のwebサイトをしっかりと見たり、資料を請求したりした
☐ はたらくふくおか掲載企業ではないが、福岡市内の企業に就職した
☐ はたらくふくおか掲載企業ではないが、福岡市内の企業にエントリーした

取材企業向け総括アンケート

2020年3月

スタッフ

事業参加での変化の実態を調査

2017～2019年度の3年間で取材をさせていただいた20社の企業を対象に、追跡調査を行いました。「はたらくふくおか」のサイトを見て、エントリーした学生がいたか、インターンシップに参加した学生がいたか、どういった事業なら前向きに参加したいかなどの項目を尋ねました。(アンケート回答数:18件) また、希望された企業には、インタビュー動画のデータDVDをお渡ししました。

はたらくふくおか最終アンケート（取材企業様向け）

先般より、福岡市共働事業推進制度 採択事業「はたらくふくおか」にご協力いただき、誠にありがとうございます。

2017年より、福岡の学生が地元企業の良さを知り、福岡に定着（就職）したくなる活動として「はたらくふくおか」事業を行って参りましたが、当初予定より2020年3月末を持ちまして活動を終了いたします。（webサイトは2020年8月まで稼働予定です）

今まで取材や学生交流会への参加などご協力いただき、ありがとうございます。事業の総括として、当事業の3年間の成果を把握し、地元福岡の発展に貢献しながら貢献させていただきたいと考えております。随時納品とさせていただきますが、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

（所要時間：10分程度、回答締切：3月27日）

*必須

御社名 *

回答を入力

①「はたらくふくおか」のwebサイトを見て、御社にエントリーされた学生はいましたか？*

選択

②「はたらくふくおか」のwebサイトを見て、御社のインターンシップや説明会、見学・訪問などに参加した学生はいましたか？*

選択

事業後の予定

2020年4月～5月

スタッフ

実行委員会 最終総会の開催

3年間の総括として、実行委員会主要メンバーでの総会を実施。事業として達成できたことや、今後他の事業につなげるポイントなどを整理、共有します。

スタッフ

事業報告会

事業のあゆみや成果、見えてきた課題等について、プレゼンテーションを行います。

(7) 3年間の事業成果

webサイトに関して

●「はたらくふくおかwebサイト」の訪問ユーザー数およびPV(ページビュー)

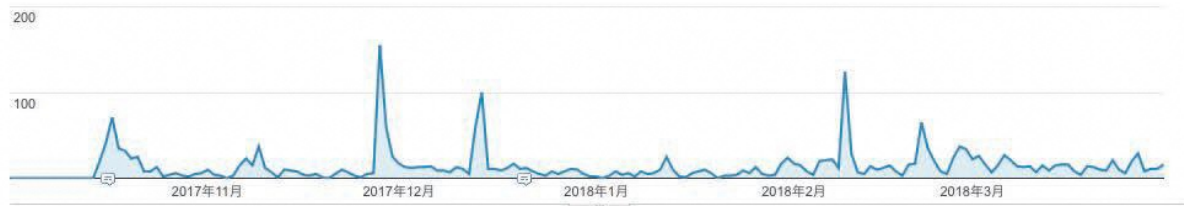
<2017年度計測期間> 2017/10/16~2018/03/31

<累計ユーザー数> 1,741

目標数値:2,000

<累計PV数> 6,088

<ユーザー数の遷移>



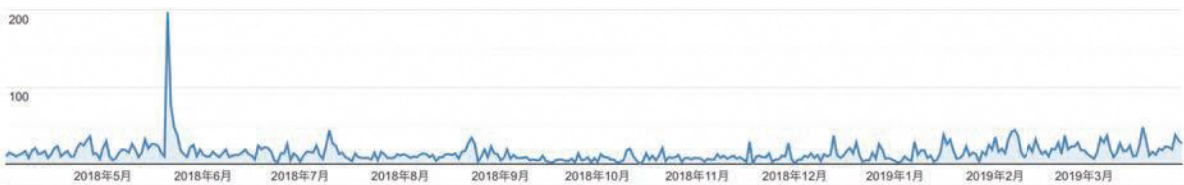
<2018年度計測期間> 2018/04/01~2019/03/31

<累計ユーザー数> 4,452

目標数値:4,000

<累計PV数> 9,352

<ユーザー数の遷移>



<2019年度計測期間> 2019/04/01~2020/03/31

<累計ユーザー数> 11,161

目標数値:6,000

<累計PV数> 19,860

<ユーザー数の遷移>



2017年10月にサイトをオープンしました。1年目となる2017年度は、目標数値であった2,000ユーザーの閲覧には至らなかったが、続く2018年度、2019年度については、目標数値を超えるアクセスがあった。アクセスが増加傾向にあったのは、徐々にコンテンツ(取材記事)が増えたことや、アンケートなどを介してサイトの認知度が徐々に上がってきたことなどが要因と考えられます。

動画・放送に関して

● J:COMコミュニティチャンネルでの放送

撮影、編集されたインタビュー動画は、サイト上だけでなく、J:COMコミュニティチャンネルでも定期的に放映されました。

【放送時間】2017年11月～(月～金)①19:55～20:00、②21:55～22:00

【放送回数】週10回、月20回 ※毎月1回更新でリピート放送

【視聴可能世帯数(コミュニティチャンネルが視聴できる世帯数)】約635,000世帯

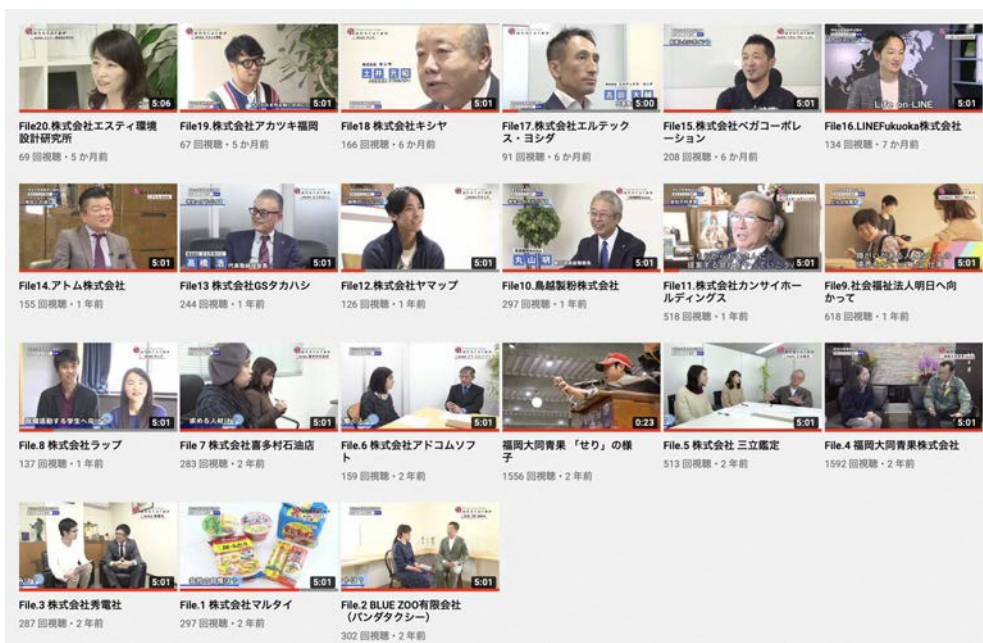


youtubeに関して

● 「はたらくふくおかyoutubeチャンネル」の成果(3年間の累計)

<累計再生数> 7,819

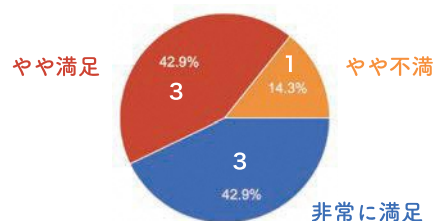
<動画本数> 21本



2017年度の事業アンケート

2017年度アンケート①「取材企業アンケート」(回答数=7)

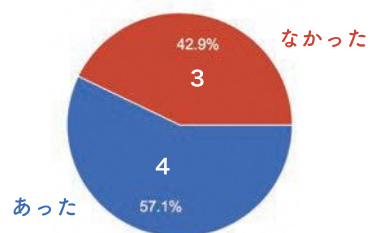
質問① 取材・記事内容について、御社の魅力や特徴を伝えられるものになっていましたか？



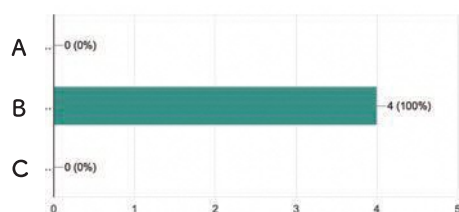
質問② ①の選択肢を選ばれた理由について教えてください(自由記述)

- 自社のPR動画はなかなか自社単独では出来ないもので作成してもらえて、非常にありがたかったです(費用的、企画的、時間的に)。
- コンパクトですが、しっかり伝えたいことが表現されています。
- 事前に取材への準備はしていたが、カメラが回ると上手く伝えられなかった。
- 写真なども、特徴を伝えられるものばかりだったから。とても素敵なページを作成していただき、ありがとうございました。今後も、このような機会がございましたら、ぜひ参加させていただきたく思います。
- 内容を精査する準備時間が足りなかった(当社の受け入れ体制が原因です)
- トップインタビュー・密着取材ともに暖かい感じにまとまっており、イメージアップに繋がったと思う。
- 当社からの情報提供が不十分でした

質問③ 記事の効果・反響などありましたか？



質問④ ③で「あった」とお答えいただいた方にお聞きます。それは、こういった内容でしたか？(複数選択可)



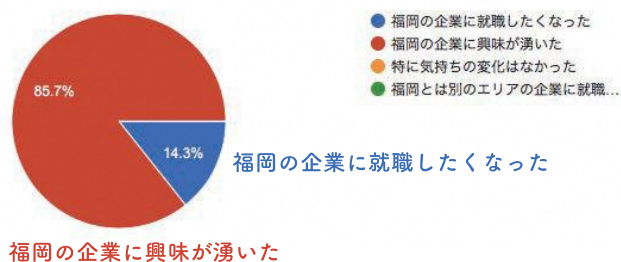
- A:webを見た大学生からのエントリーなどの申し込みがあった
- B:周囲の方から「見たよ」という声があった
- C:取材を受けた職員に良い変化があった

質問⑤ 取材を受けて、改善すべきと感じられた点があれば教えてください。(自由記述)

- もう少し、取材の時のアドバイスをもらえたら良かったです。姿勢や声のトーンや表情やジェスチャーなど。
- 用意すべき備品等ある場合や、弊社社員にポーズ等とってもらう写真の撮影は、どんな些細なことでも構いませんので、事前にお伝えしていただけたら助かります。(こちらの都合で準備できない場合もございますので・・・)
- 社長取材の映像にテロップを付けて欲しかった。音楽が流れる関係で発言内容が聞き取りづらかった。いろいろご対応いただき誠にありがとうございました。今後の採用活動等に活用できるようにしていきます。
- 会社説明会時に「はたらくふくおか」について話したが、認知度が今一に感じた。当社は自発的に宣伝を行ったが、参加企業が採用活動時に宣伝できるようなツール作成や、依頼を行ったほうがいいのではないかな。

2017年度アンケート②「大学生編集部へのアンケート」(回答数=7)

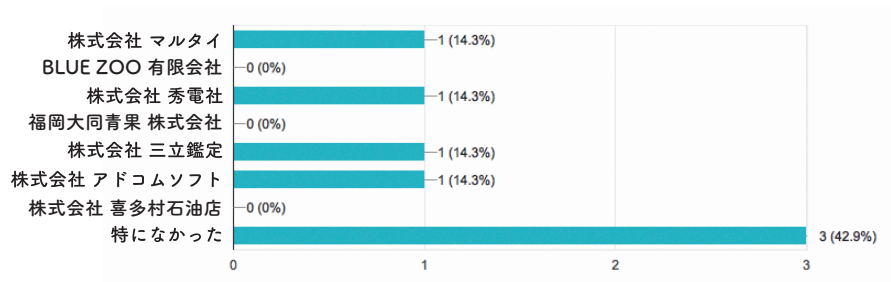
質問①-1 福岡の地元企業に対する印象は変わりましたか?(選択式)



質問①-2 「①-1」の印象の変化について、どう変わったか具体的に教えてください。(自由記述)

- 福岡に来たばかりで、何があるかもわからず、地元に戻って働こうかなと思っていただけ、福岡にも色々な企業があることを間近で見ることができたので、興味が増えました。
- 地元で貢献したいという企業の思いを知り、福岡の活性化につながる必要不可欠なものなのではないかと思うようになった。
- もともとどこで働きたいとかの希望はないけど、こんな企業もあるのか、ということを知れた。
- 参加させてもらったときに、福岡のよさとか、福岡で起業した経緯などを直接、執行役員の方から伺えたのが、東京や大阪とは違う福岡のよさだと思ったし、そんな福岡に残って就職したいと思いました。また、企業というと、東京に多いイメージで、福岡にある会社をあまり知らなかったから、はたらくふくおかのサイトを見て、そのような福岡の中小企業を知ることができて、就職する会社の選択肢が広く感じられました。1年生だったので、就職や就活のイメージもできて、よかったです。
- 福岡だけでなく、九州にも活躍していると感じました。
- 就職するに当たって、福岡を出る選択肢しかなかったが、出ない選択肢も考える機会になった。
- 三立鑑定の鑑定士など今まで聞いたことのなかった職種を知れたこと。

質問②-1 取材した(記事を読んだ)企業の中で、就職先の選択肢の一つとして考えてみようと思った企業はありましたか?(複数選択可)



質問②-2 その理由を教えてください。(自由記述)

- これからも色々知っていくうちに、自分に合った企業があると思うから。
- 取材をした際に、社長をはじめ社員の方の雰囲気がよく、働きやすそうな環境だと感じたから。
- 就職についてあまりまだはっきりしていないから。
- アドコムソフトさんは、プログラマーと、SEなどの職の内容や就業体制などを知って、面白いと思ったからです。また載っていた会社の方の語りぶりが面白かったです。二人の方からの、働いて1年目の本音が聞けたのが良かったです
- 会社の雰囲気が凄く良かったですから。
- 直接、訪問できたから 社員さんが格好いいと思ったから
- 就職先が決まっていたことと業界として教育、医療などに興味があったため。

質問③ はたらくふくおかに参加して(記事を読んで)役に立ったことを教えてください。(自由記述)

- 福岡で就職することへのいいイメージが湧きました!!私がお話を聞いた方も、もともと福岡出身ではないけど、こちらで就職されていて、身近な話も聞けたため、福岡で就職することも視野に入れやすくなりました!
- 就活サイトなどをみると、大企業を見がちだったが、参加したことで、会社名にとらわれるのではなく、自分に合った企業を見るべきだと思った。
- 名刺の渡し方などのご指導や、取材内容をどういう順で出せば面白くなるかを考える方法(ポストイットなどの利用)
- 就活や就職のイメージがついたこと、福岡の中小企業について知ることができたこと、社会に出ている大人の方々と話す機会を得たこと
- 社員それぞれの考え方がありますが、同じ目標を目指して頑張っている姿勢が感心しています。
- 社員(役員)さんの直接の声を聞く事ができた。 社会人としての心構えを学べた
- 取材したあとの編集方法を知れたことです。人を取材して記事を自分でまとめたことはあったのですが、どうしたら良い記事を作ることができるかを知ることができたのが良かったです。

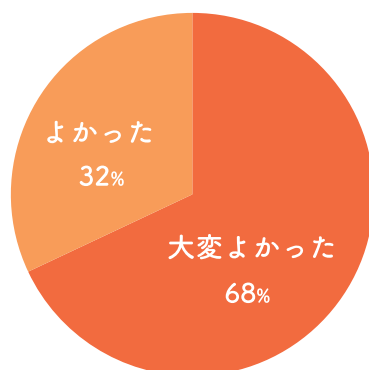
質問④ 就活や仕事・働き方などに関して、あなたが知りたい情報を教えてください(自由記述)

- やはり、新人社員さんからの話などを聞いて、包み隠さず企業の裏側を知りたいです。
- 働き方改革が行われている中で、それぞれの企業がどのような工夫をしているのか。
- 福岡でしかできない業務をしている、もしくはかせない存在である企業や職業はもっとたくさんあると思うので、知りたい。
- どんな人材を求めているのかの本音 就活の際、どのようなことに気を付けて面接を受けたり、企業研究すればよいのか
- 大学生のうちにしていってほしいこと
- 就活情報や企業の情報、インターンシップについての情報
- 会社のこれからの経営計画や自分の知識を活かせるかなど。
- 採用情報だけでは知る事が出来ない、生の情報を知る事ができた。
- 就活はいつの時期に何をしたらいいのか具体的に知りたかったです。大学の授業やバイト、サークル活動もある中で就活にはどの時期にどのぐらいかければよかったのか、どの段階から準備すれば慌てなかったのかを知りたかったです。

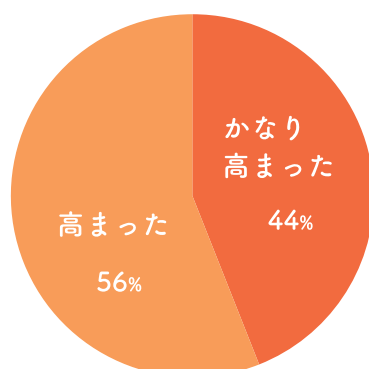
2018年度の事業アンケート

2018年度アンケート①「企業×大学生交流会 参加大学生向け」(回答数=25)

質問① 交流会に参加してどうでしたか？



質問② 福岡の地元企業への興味・関心が高まりましたか？



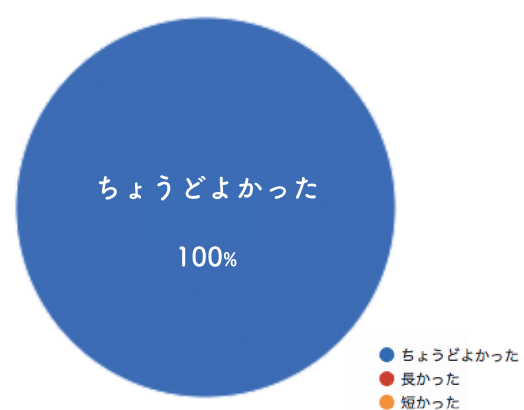
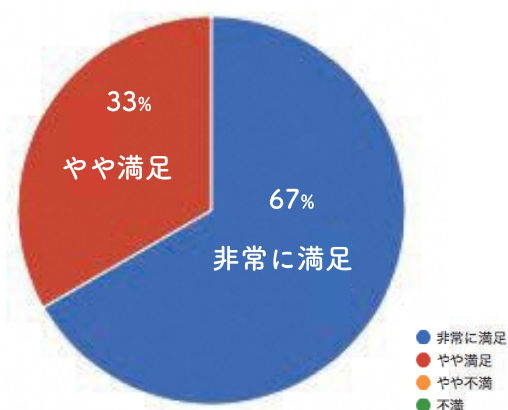
質問③ 交流に参加していかがでしたか？

- 自分が興味のある分野だけでなく、まったく知らなかった会社のことも知ることができた。価値観がより広いものになった。7つの企業を知ることができたので参加して良かった。また、大学生とも知り合うことができ、刺激になった。
- 今まであまり福岡の企業の方のお話を聞くことがなかったので、福岡で活躍している企業を知ることができ、お話を聞くことができてとてもよかった。私は4年生で既に東京の企業に就職することが決まっているが、もっと早くこの「はたらくふくおか」を知っていれば良かったと思う。企業の方も本音で話してくださっていたので、これから社会に出る身としてとても参考になった。
- 普段はマイナビ・リクナビなどの大手情報サイトから大手の企業のことについてしか調べていないため、このような福岡の地元に着した企業を知ることができて良かったと思う。また企業の方と関わってみて、企業の風土や環境を直に感じることもできたことはとても良かった。
- ネットの情報だけじゃわからないところがたくさん知れて良かった。企業の方とたくさんお話ができる機会はそんなに無いのでとても良かった。インターンシップより気軽にできて良かった。
- 知らない企業が多くあったが、企業についても深く知ることができたうえに企業の名前だけじゃわからない仕事内容や職種などを知り、非常に興味が湧いた。今後の取材もとても楽しみになった。
- 自分が知らなかった企業ばかりなのでとても新鮮味があり様々な話を聞けて視野を広げることができたと思う。またこれから福岡の企業等について調べていけたらと思う。
- 企業さんの生の実際の意見を聞けてよかった。他の大学生の方の質問を聞いて、他の人が何を基準にして企業を見ているのか、何を知りたいかが知れて新鮮だった。
- 福岡の自分の知らない会社を知ることができて、本当に貴重な体験。一番気になる質問の「どのような人に入社してもらいたいか」という答えに「挨拶がしっかりできる子」という答えであったので、これから意識していきたいと思う。

2018年度アンケート②「企業×大学生交流会 参加企業向け」(回答数=6)

質問① 交流会の満足度を教えてください。

質問② 交流会の時間はいかがでしたか？

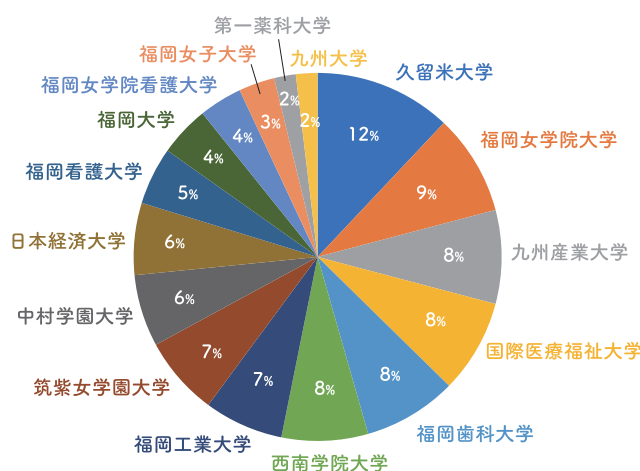


質問③ 交流会に参加していかがでしたか？

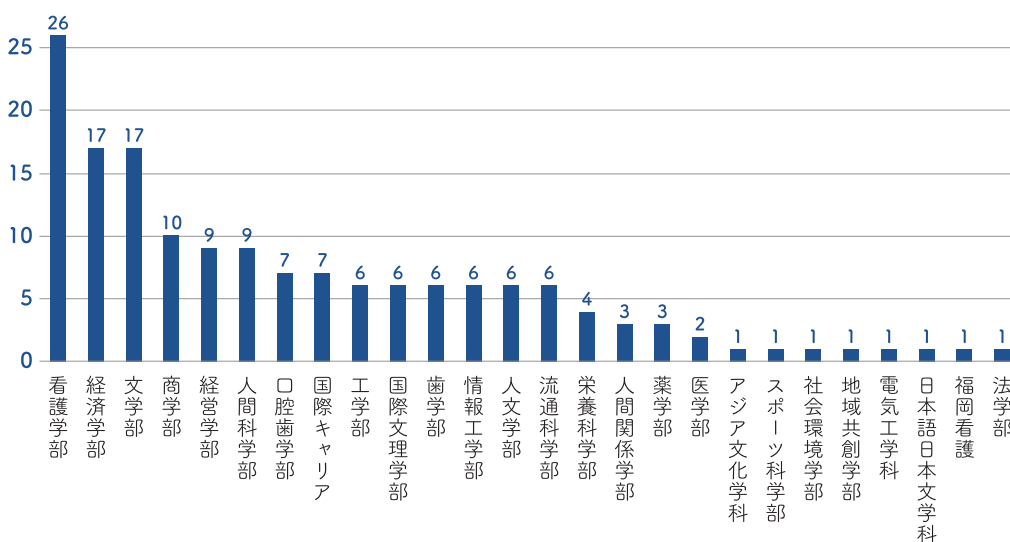
- 一年生が来てて、早い段階でこのような会に参加することが有意義な学生生活を送ることにつながるのではないかと思います。企業としても目の前に期限が迫った学生さんよりも広い心で話を聞いてもらえるメリットがあります。
- 様々な学年の学生さんとお話することができ、今の学生さんが企業を見る際にどういったことに疑問を持つのかということや、社会人に聞きたいことを質問を通じて知ることが出来たため。とても貴重なご意見を伺うことが出来ました。また、学生さんがとても積極的で、次々に質問してくださったのも嬉しかったです。
- 参加する学生さんの男女の比率が前もってわかれば、企業側の参加も色々話ができそう。
- 学生の方の情報が欲しかったのと学生様人数をもう少し増やしてほしい
- 学生さんの方から質問を行うという主旨だったため前のめりで参加してもらえた事。また、4人という少人数でじっくり学生さんと話が出来た事。
- 交流の時間を多くいただけましたので、学生の方からの質問を通して、会社や仕事のどんなところに興味を持っているかを感じることができたから。

2018年度アンケート③「福岡市内大学生向け web サイトの印象についての調査」(回答数=158)

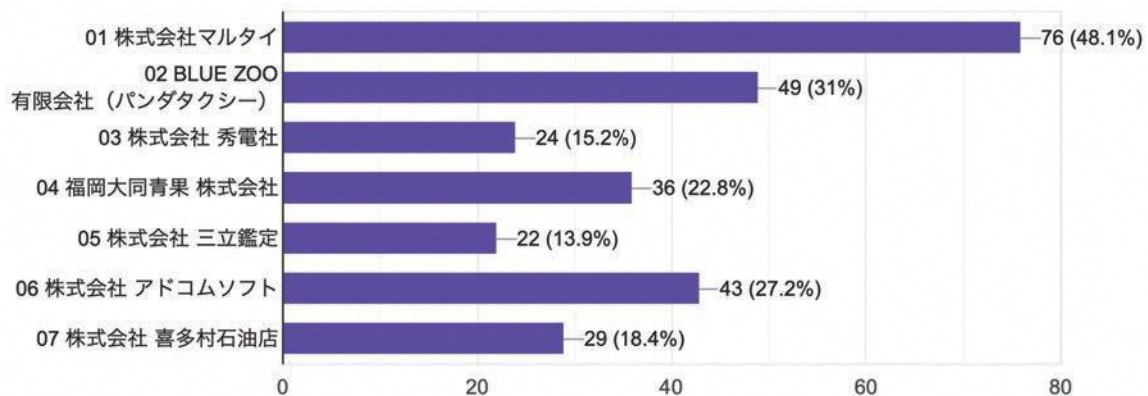
質問① 大学名



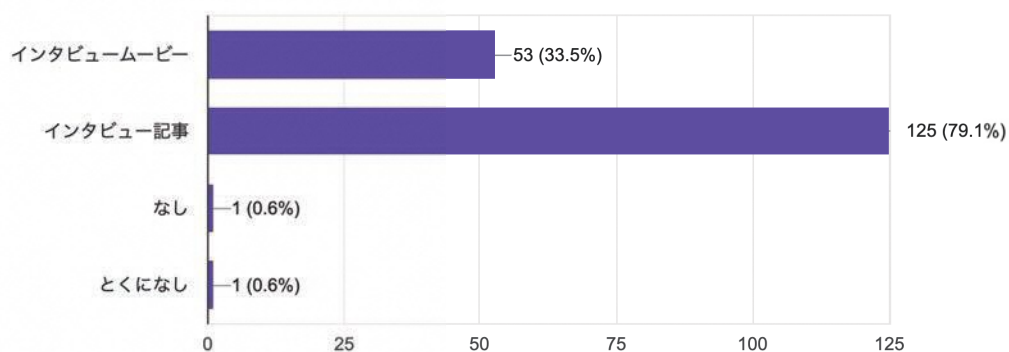
質問② 学部



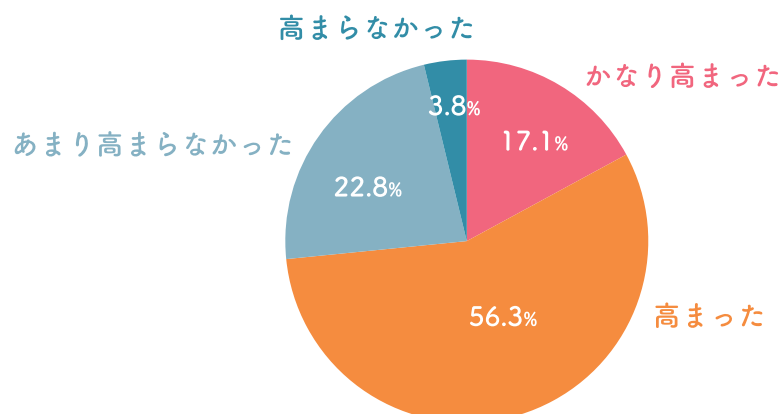
質問③ どの記事を読みましたか?(複数回答可)



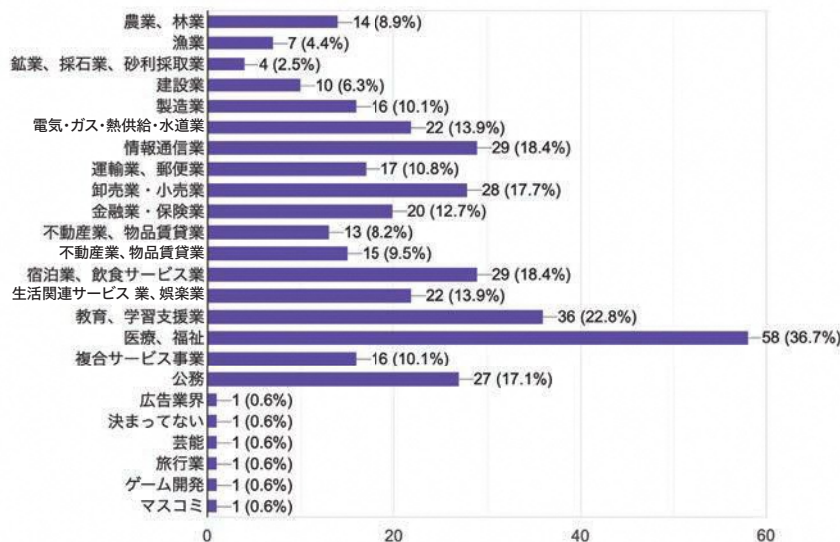
質問④ 興味を惹かれた部分はどこですか?(複数回答可)



質問⑤ 「はたらくふくおか」を見て福岡の企業に興味・関心が高まりましたか?



質問⑥ あなたの興味のある業種や知りたい業種を教えてください

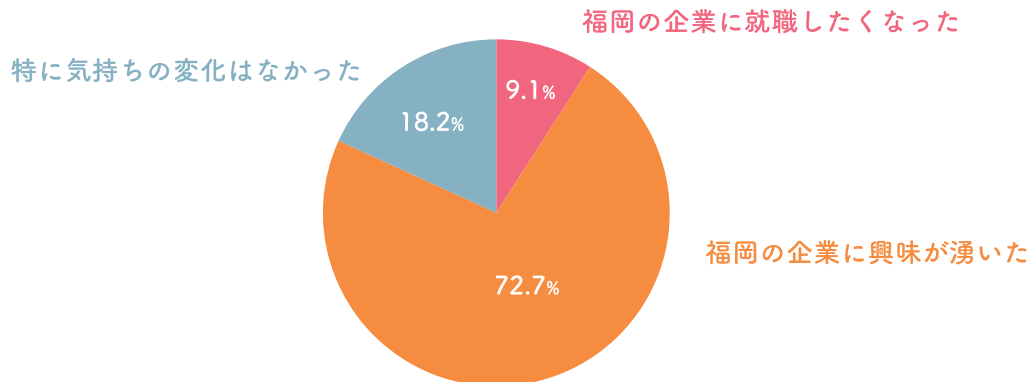


質問⑦ はたらくふくおかを読んだ感想や、こんな情報が知りたいという点、または改善点などを教えてください(任意)

- ☐ 一つ一つの会社について仕事内容や雰囲気など詳細に知れて良い
- ☐ 福岡で働く魅力をもっと知りたい。
- ☐ インタビューしたり記事を作ったりする経験を積んでいる、同い年の大学生を見て刺激をもらいました。一年時のときに知っておけばよかったと後悔しました。
- ☐ とてもシンプルで見やすかった。
- ☐ 地域に根付いている企業がたくさんあるということがわかりました。
- ☐ インタビューの内容が興味を持つものが多かったのも、普段学ぶ機会のない職業の知識を得ることができて良かったです。
- ☐ 自分が電気科なのでとても参考になった。もっとこの会社の仕事についてのインタビューがあればよいと思った。
- ☐ 月に1回いろいろな会社にインタビューしていただけたら嬉しいです。
- ☐ 他にも、様々な職種について掲載していただきたいです。
- ☐ 働く人のやりがいや、具体的な仕事の内容がインタビューで分かるのは、観ると面白いが、観るまでのきっかけがなかなか無いのが残念だと思った。
- ☐ 素晴らしい記事でした。ただ記事を増やして欲しいかなと思いました
- ☐ 現場のリアルな声が聞けて、貴重な情報を得ることができました。
- ☐ インタビュー記事は、顔写真が大きくコメントも長いので読みにくく感じた。また、県外出身の人が福岡で働きたい!とっと思えるようにしてはどうか。
- ☐ 次回予告つけて、質問等を募集してほしい。全部見れていないので、していただきたいと思います。
- ☐ スマートフォンから閲覧した際にスクロールバーが表示されなかったのも、記事全体のどれくらいを読んでいるのかわからず、少々不便に感じました。また、わざと平仮名で表記してあることによって読みにくい部分もありました。記事の内容は、インタビューの方が素直に受け止めていらしたのでわかりやすく面白かったです。
- ☐ 記事トップ画面に見慣れた商品やサービスの写真があると、もっと興味が湧いて読みたくなる。

2018年度アンケート④「大学生編集部向けアンケート」(回答数=11)

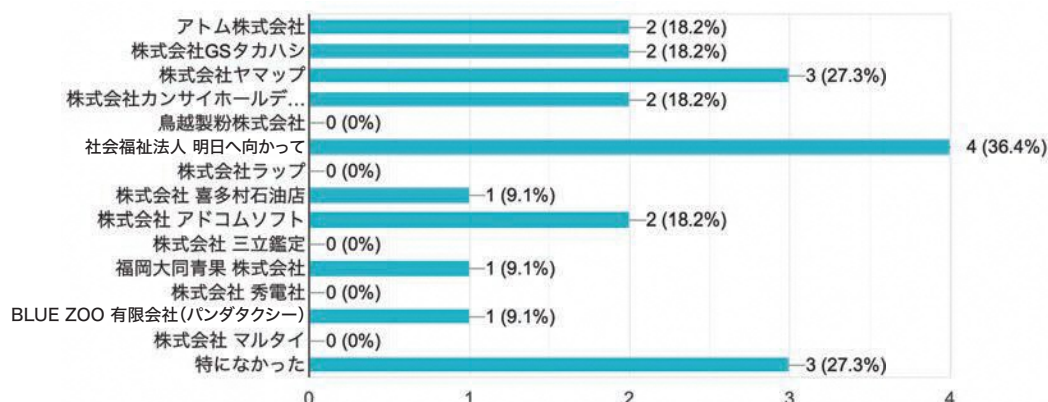
質問①-1 福岡の地元企業に対する印象は変わりましたか？



質問①-2 「①-1」の印象の変化について、どう変わったか具体的に教えてください。

- 福岡「だから」自分らしく働けるところもあると実感した
- 福岡から世界にいけるのだなと思えた、世界に通用するものが作れると思った
- 面白い企業は関東の方にしかないのかと思っていましたが、福岡にもあるということがわかり、もっとちゃんと調べようと思いました!
- 福岡で新しい形のビジネスを起こしている企業の存在を知ることができたから。
- 企業に取材に行かせていただいた際、福岡の良さについても聞かsekudさり、どここのところでも同じと思っていたけれど、商売がしやすい環境などの福岡の気質の良さのお話が魅力的で、福岡に就職したいと思いました。
- 地元企業がその企業を生き残らせるために、いろいろな工夫や経営の戦略がなければならないということが分かりました。
- 以前から福岡で働きたいという思いはありましたが、どんな企業があるのかはあまり知りませんでした。取材した企業の他にも福岡の企業にもっと目を向けていこうと思うようになりました。
- 福岡には、数え切れないほどの職種があり、私のやりたいことなども福岡では見つかりそうだった。
- 偏見ですが、福岡の企業は大体規模が小さくてパツとしなさそうと思ってたのであまり興味がなかったのですが、福岡の企業にも少数人数だからこそ風通しのいい社風であるなど色々な魅力があることを知って、以前より興味がわきました。
- 元々、できれば福岡で就職したいと思っていて、その気持ちに変化はありませんでした。

質問②-1 取材した(記事を読んだ)企業の中で、就職先の選択肢の一つとして考えてみようと思った企業はありましたか?(複数選択可)



質問②-2 その理由を教えてください。(自由記述)

- 自分の自己実現ができる職場だと思った
- 若手社員の話が会社の雰囲気をよく伝えてくれていた
- 目的を持って働くことができそうだし、人との関わりを大切にしているところがすてきだと思いました。
- 社員の方とお話して人柄に惹かれたから。
- 実際に取材に行かせていただいたところでは、喜多村石油さんとカンサイさんは、社長様や若手社員の方への取材でお話を聞くうちに実際に人柄に触れ、魅力的に感じました。もともと興味のある分野ということもあり、取材ができて会社やその業界について知ることができてよかったです。また、取材に行き、実際に記事になったところを見ると、達成感ややりがいを感じ、その上実際に自分の足で行って企業を知ることができて、一石二鳥と思います。2017年度では、3月に振り返りの集まりがあったときに、他の取材に行っていないところでも実際にいった池田さんや他のメンバーの話が改めて聞けたので、残り3社は興味を持ちました。(改善案なども話し合いができて、その案が採用されたりもしているので、人が集まりやすいときにまた開いてほしいな、と思いました) 特に、福岡大同青果さんは、ページにある動画の競りが特に面白かったです。あまり知らない現場だったので、衝撃的でした。
- このような福祉事業をやる意味が普通の事業と違います。
- 自分が取材しに行ったから。
- 女性に優しい会社だと感じた。
- 取材した頃はいろんな業種を考えていたが、今は教育業界に絞ることになり、取材した企業は当てはまらなかったから。
- 自分がやりたいことを決められないゆえに、まだ就職先の候補を考えたりもできないから。

質問③ はたらくふくおかに参加して役に立ったことを教えてください。

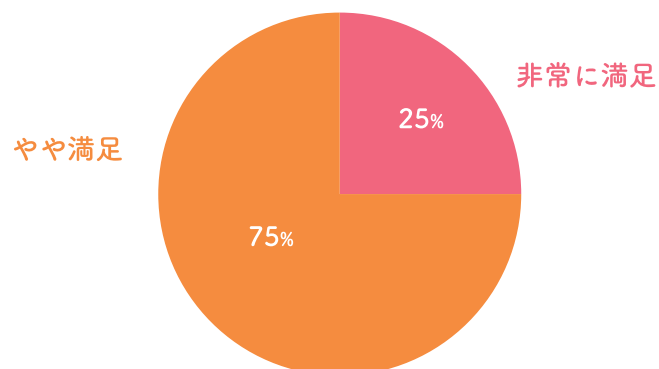
- 楽しく働く、何のために働く、を考えさせられた点
- 取材を若手社員と社長どちらもすることで会社のことが分かって面白かった。JCOMさんたちとお仕事するのも取材段取りなどプロの方の仕事がみれてためになった。記事作りの参考になった
- 福岡の企業にも目を向けてみようと思えました!
- お話を引き出す難しさを知ること、自分が就職活動など質問する側として意識すべき心構えのようなものを考えることができた。
- 取材に行き、実際に会社の中に入って、取材できる機会はあまりないので、参加させていただき、就活に対して心構えがいたり、働くことのイメージが湧いたりできたことが良かったと思います。他で、会社のインターンシップなどに参加する機会がありましたが、質問できる内容が限られていたり、時間が少なかったりするので、その点、深く会社について質問できるツールがあるのがいいと思います。
- 福祉事業の実際の運営状況について、身近に感じることができました。
- 社長さんと生で会話ができる貴重な機会だったと思います。
- 取材する側の苦労や楽しさを知られたのが良かったです。
- 取材の進め方やビジネスマナーが学べたこと、素敵な社会人の方のお話を伺えたことが役に立ちました。
- 質問の仕方や名刺渡しなどの礼儀、また説明会などでは聞けないようなお話まで聞けて、今後就職活動をしていく中で自分で、何を重視すべきか考えるきっかけとなった。
- 親しい間柄でない人(今回の参加では取材を受けてくださった方々)との会話のキャッチボールの仕方について考えるきっかけになったし、実践練習にもなったので良かった。普段の生活では(家族や大学の職員以外の)働いてる大人と会話する機会がほとんどないため、今回の経験は働くことのイメージを得るには貴重な良い機会になった。

質問④ 就活や仕事・働き方などに関して、あなたが知りたい情報を教えてください

- 長い目でみたキャリア形成
- これからの働き方で若い人が何をしていけるか、分かりやすい会社の情報が知りたい
- その企業に入った理由 企業との出会い 心掛けていること など!
- その会社で働いたら、人としてどれくらいキャリアアップできているのか、実例をみたい。
- その現場で働く人の人間関係や会社の雰囲気などの働く環境が知りたいと思います。
- 地元企業で働く自分の将来像。
- 業務内容よりも、どんな人が働いているのかと、従業員や社長が家族や友達、仲間を大事にしている会社なのかどうかです。家族や友達、仲間を大事にしない会社が仕事仲間を大事にできるとは到底思えないので、一番知りたい情報です。
- 女性に優しい仕事、社員の1日のスケジュールを図式で見やすくみたい、実際にそこに就職するために具体的に何をすべきか
- (営業などの)業務の種類について知りたい。同じ会社の中でも、課や業務が違えば全然違う働き方になると思うから。

2018年度アンケート⑤「取材企業アンケート」(回答数=8)

質問① 動画・記事内容について、御社の魅力や特徴を伝えられるものになっていましたか?

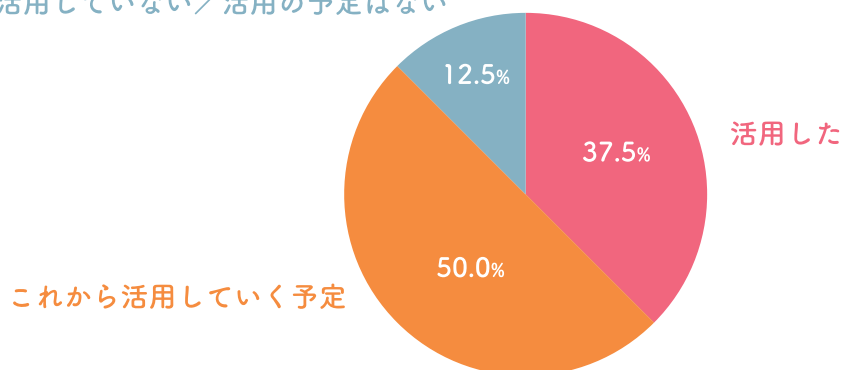


質問② ①の選択肢を選ばれた理由について教えてください(自由記述)

- 特に記事の部分が、当社の特長が良く伝わるものになっていました。
- 会社見学にきていただいた学生さんが観てくれている人が1人いたので。
- 社長や社員へのインタビューの編集が、弊社が特に強みとしていることを上手にまとめた内容になっていたため
- 非常に工夫されていてわかりやすく、読んでいて気持ちよかったです
- 音声聞き取りにくいところがありました。場所の問題でしょうか。内容として満足です。
- 当社は主にBtoBの企業で会社名を聞いても一般的には知られていないと思われるので、会社の内容が分かる部分をもっと加えて欲しかった。
- 障がい者に多彩な活動を提供しているので、もっと画像を入れたかった。
- 記事に関してはよかったと思います。動画に関しては、学生向けということもありますが、あまり深みがない印象でした。使いやすい話をできなかった自分も悪いのですが。。。

質問③ 完成した動画・記事について、学生へのPR等に活用されましたか？

活用していない／活用の予定はない



質問④ 取材を受けて改善すべきと感じられた点や、今後期待することがあれば教えてください。(自由記述)

○特に改善すべきだと感じた点はありません。学生さんはインタビュー中積極的に質問してくださり、興味を持って取材に取り組んでいらっしゃるのだなと感じました。今回の取材だけではなく、今後新しく会社をPRするコンテンツなどができた際は、ご紹介いただけたらと思います。

○結構いろんな方から動画を見たよと声をかけられてびっくりしました。大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

○非常に面白い取り組みです。大中小交えてあらゆる企業を紹介していただければ学生側企業側、双方に活用されるかと思います。

○サイトのアップを早めたら良いと思う。

○テーマが色々分散した分、一つ一つの話が浅くなってしまった気がするので、もう少しテーマを絞っても良いのかなと感じました。

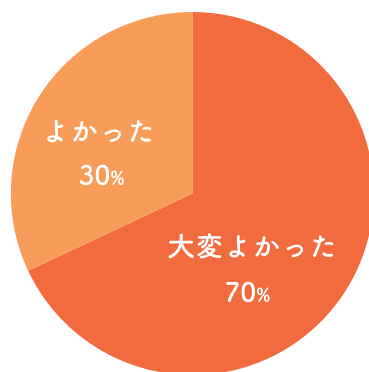
○もう少したくさんの学生さんが観ていてくださってたら嬉しいです。

.....

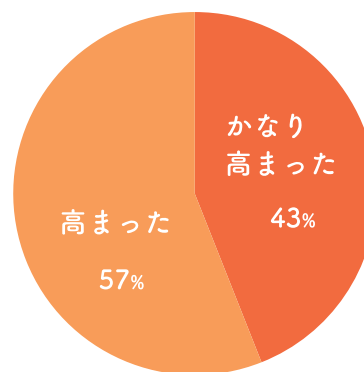
2019年度の事業アンケート

2019年度アンケート①「第1回 企業×大学生交流会(6月実施) 参加大学生向け」(回答数=21)

質問① 交流会に参加してどうでしたか?



質問② 福岡の地元企業への興味・関心が高まりましたか?



質問③ 交流会に参加していかがでしたか?

○福岡の企業について深く知れたので、とても良かったです。知らない企業ばかりだったり、興味のない分野の仕事からも、これからの人生を生きていく上で、勉強になったことがたくさんありました。

○就活について深く考えたことがなかったし、企業について何も知らなかったのも、それぞれの企業の魅力を知ることができて良かったです。大学に入学して3ヶ月ほどたった今、大学生だからこそできることってなんだろうとも考えていたので、企業の方が大学生に対して求めていることも知れたので良かったです。世間では働き方改革とも言われているが、本当に変化しているのかという疑問を持っていましたが、今日お話をきいて、自分の働きたい時間に合わせて働けるということを知り、少し実感がわきました。

○実際に話をすると表情が見れて会社の雰囲気伝わりました。顔が輝いている楽しい会社が福岡にたくさんあるのだ!と知れてとてもおもしろかったです。会社のホームページだけだと、よく分からないから興味が湧かないという事がたくさんありますが、話すうちに惹かれる企業がたくさんありました!

○6社の貴重なお話が聞けて良かったです。友達に誘われて「やりたいことも分からないし、せっかくだから行ってみよう」という気持ちで来ましたが、来て良かったなと思いました。興味を持ったところもあったので、またいろいろと調べてみたいと思います。私はもともと福岡で就職したいなと思っていたので、とても良い機会でした。誘ってくれた友達にも感謝です。

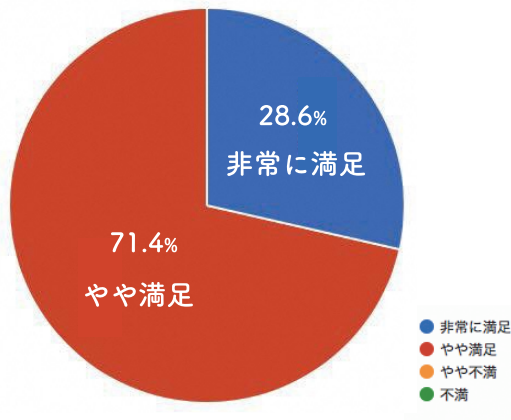
○今まで自分の興味のある業界を調べる際に、より大きな仕事をしていたり、大手を探したりすることが多かったんですが、今日で考えが180度確実に変わりました。大きな実績など、もちろん大事だと思うのですが、自分がどう働きたいか何を重視したいか選択肢がとて広がったと思います。

○東京の企業にばかり目を向けがちですが、このプロジェクトを機に福岡の企業の魅力が伝わりました。

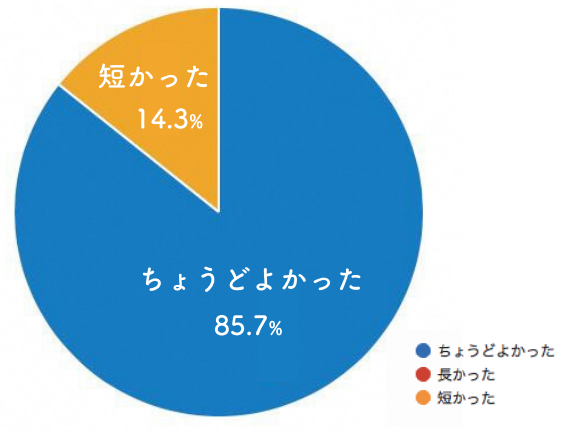
○パンフレットやインターネットに載っていないようなコアな話まで聴けたから。また、どんな些細なことでも明るく丁寧に答えて下さって、大人になる、社会に出るといっても悪くないなと前向きな気持ちになりました。語学を生かしたいなら絶対外国で働かなきゃ!と思っていたけれど、福岡にしながら外国語を生かせるところもあることを知り視野が広がりました。

2019年度アンケート②「第1回 企業×大学生交流会(6月実施) 参加企業向け」 (回答数=6)

質問① 交流会の満足度を教えてください。



質問② 交流会の時間はいかがでしたか?



質問③ 交流会に参加していかがでしたか?

○大学生が当社に対してどのような疑問を持っているのかや、就職に対してどのような考えでいるのかということに触れることができた。

○しっかりと学生と話せてよかったのですが、15分×6グループになると、学生も企業側も少し疲れ始めているようでした。

○形式ばったイベントとは違いラフな雰囲気で行われたので、学生の皆さんが抱えている不安など素直な気持ちをおうかがいでき、ざっくばらんにお話できた点がとても良かったです。イベント後にいただいたアンケート内容でも、「違う視点を持てた」と回答されている学生の方が多く、選択肢を増やすことができたのであれば、良かったなと思います。

○ほとんどの学生様に興味持って話をきいていただき、BtoBの企業としては業界認知のとてもいい機会になりました。ありがとうございます。

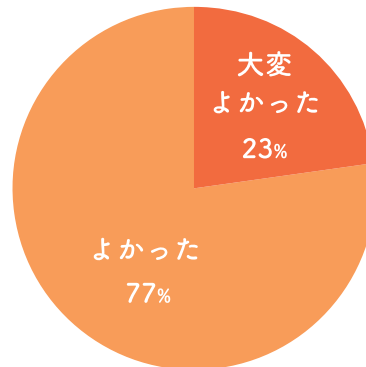
○学生さんたちが企業に期待する事、興味のある点などを知ることができましたし、私自身も自分の会社や働き方について考える良い機会となったため。

○会社紹介3分、座談会15分と十分なお時間を設けていただいておりますが、もう少しお時間があれば更に会社のことを知っていただけたのかと思った次第です。

○学生から質問がない場合、同じことを何度も繰り返し話をしたところ。(は大変でした)

2019年度アンケート③「第2回 企業×大学生交流会(12月実施) 参加大学生向け」(回答数=35)

質問① 交流会に参加してどうでしたか?



○ざっくばらんに、何でも話せて楽しかったです。自分が楽しいと思えることを正直にただやれば良いのだと思って気が楽になりました。

○ネットや数字だけの表面的な数字だけではなく、内部情報に近いものを聞けたから良かった。

○希望を出した企業さんのお話が聞けたので嬉しかったです。なかなか発信することができなかったけれど、「何かありますか?」と優しく聞いてくれる人ばかりで、質問をしたときもパッと答えてくれて、いい時間が過ごせて良かったと思いました。直接話を聞くことで興味が湧いたところもありました。時間があっという間で、もっと話を聞きたかったです。今回参加して良かったです。

○興味のない分野のお仕事の人からお話を聞くことで視野が広まりました。何でも興味を持つことって大切だなと思いました。

○私は、将来どのようなことを仕事としたいのか決まっていなかったので、今回、考えるきっかけになるのではないかと思います、参加しました。実際に参加してみて、普段同じ学生の方や社会人と話す機会はあまりなく、最初は少し緊張しましたが、とても話やすく質問しやすい雰囲気でもとても楽しかったです。

○いろいろな企業の方から直接話を聞くことができたのは良かったと思いました。また、交流会によってたくさんの学生さんたちとも話すことができたことで、もっと自分が勉強(企業について)していかなければいけないと思いました。そして、初めてこのようなイベントに参加してみて、もっと参加してみたいと思いました。

○ネットビジネスに興味を持った。大学時代は自分のしたいことをしていいのだと思った。1年生なので、「企業」というものについて全く知らなかったが、実際に活躍している人の話が聞けて良かったです。

○仕事をする上で、大切にしていることや職場の雰囲気、今後自分がどのような心の持ちようで学生生活を送っていけばいいのかの、道標や目標が定まったと思う。これから就職したい企業を選ぶ中で、今回お話を聞いた企業も検討してみようと思った。これから有意義な学生生活を送っていきたい。

○話しやすい環境だったので、疑問に思ったことを聞くことができて良かったです。実際に企業の方から話を聞いたことは、私は初めてでした。いろいろな情報が聞けて、これから他の交流会にも参加したいと思うきっかけにもなりました。

○様々な業種の方の話を聞けたことが良かった。また、各企業の人の異なる考え方に触れることができて良かった。人事の方ではなく、現場の話を聞くことができて良かった。

○今まで知らなかった企業のお話や詳しいことを聞くことができたからとても良かったです。また、質問しやすい雰囲気でもたくさん聞くことができて良かったです。

○学生、社会人の方の意見や考え方を知ることができて面白かったです。さらにこのようなイベントに参加していきたいです。

○多様な業界の人がいたので、価値観が変わった。特に社会福祉法人の見方が変わった。

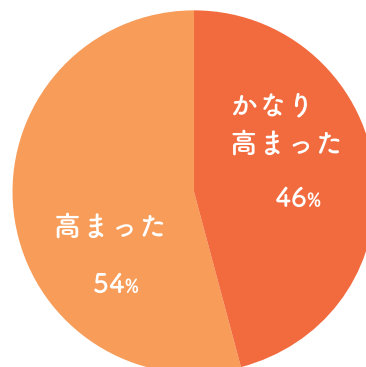
○軽い雰囲気ですいろいろな質問ができてとても有意義でした。

○福岡のさまざまな企業を知り、自由に社員さんと話ができて勉強になりました。

(次ページへ続く)

- 自分が何をしたら良いかを整理することができた機会になりました。それぞれの企業について、独自のイベントや個人の能力、趣味を活かした活動などについても知ることができました。
- 自分の興味のある分野が何なのか、はっきりと分かる良い機会となりました。自分が知らない業界のことも少し知ることができて、とても有意義な時間となりました。
- 自分の知らない企業や、社会人の人と話ができて良かったです。
- 前回の交流会とは別の企業のいろいろな話が聞けて良かったです。なかなか聞けない話も聞くことができて良かったです。
- 初めてこのような交流会に参加しました。もともと、雰囲気を知りたいというのがあったのでとてもためになりました。特に、個人的に気になっていた、なぜその職業に就きたいのか、仕事の上で大切なことなど、仕事に関する気持ちの面を知ることができて有意義な時間が過ごせました。
- 質問できた企業は少なかったが、参加されている9つの企業全てについて、普段聞けないようなことを聞けて大変ためになった。他の企業についても、このような取り組みがあればぜひ聞いてみたいと思った。まだ私は1年生だが、これから就職するにあたって参考にしていきたい。
- 話を聞きたい企業を事前に第1希望～第3希望くらいまで選べて、それを踏まえてテーブルを回る順番を決めていただければ、興味のある企業に対してもっと長く時間を確保できたと思います。
- 自分が大学で勉強している分野と全く違う業界の知識を得ることができて良い経験になりました。
- 交流会に参加して、自分が知らない業界について知ることができて良かったです。
- 業界が違う会社がたくさんあり、その会社の色が見えて大変良かったです。他の大学生の方もたくさんいて、みんなの意見が聞けて良かったです。自分自身が興味があった会社に行きましたが(最後の交流タイムのとき)学べるがありました。
- 最初は緊張していましたが、どの企業の方も何でも聞いていいよとおっしゃって下さって、質問しやすい交流会でした。特に、お二方で参加されている企業さんは会社の雰囲気が分かりました。
- 福岡にある地元の企業の話聞かせてくれてありがたいです。まだ就職のことは早いかもしれませんが、いろんな業界の仕事内容の説明やアドバイスを聞いたことが、一番良かったところだと思います。
- まだ企業とは何かをよく分かっていない部分があり、知るきっかけになって良かったです。特に今回は、テレビ業界について知りたかったので、しっかりと知ることができていい勉強になりました。働いてみたいと思う会社もあり、本当に良かったです。ありがとうございました。
- 大切な情報をいただいて助かりました。自ら早く動いて行かないといけないと思っています。
- いろいろな会社の話が聞けて理解が深まった。積極的に質問ができて良かった。
- 興味がある企業について少し理解しました。
- 来て良かったです。
- さまざまな業種の方々に話を聞けて、自分の考えや知見が広がった。

質問② 福岡の地元企業への興味・関心が高まりましたか？

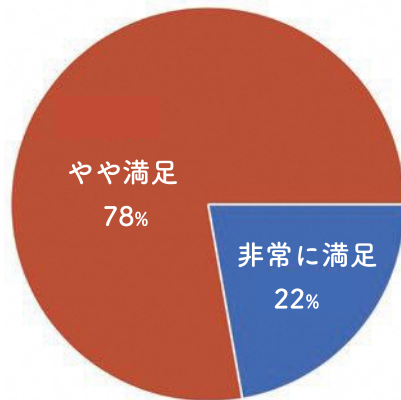


質問③ 就職や企業情報について、あなたが知りたいこと(気になること)を教えてください。

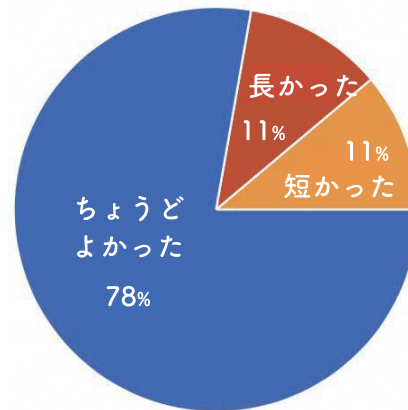
- 会社で働いているときの喜びや、やりがい、目標をもっと聞けたら良かったと思いました。(時間がもっとあれば聞けたのですが)
- 具体的な仕事内容や心持ち。
- どんな部があるかとか、上下関係、あとはいつがお休みなのか(土日とか…)は気になります。入るための資格とかがあった方がいいのか…なども。
- 会社の内部について知りたいです。
- 就職活動をする準備について。
- どのように、自分が行きたい、働きたいと思う仕事を見つけることができるか。
- 自分たちが2年後の就活を行う際のルールを知りたい。自分は就活のためにどのような準備をしていけばいいのか。
- 部署によってどのような知識があると良いのかなどを知りたいと思った。大学で勉強していく新たな目標につながったので。
- マイナビ、リクナビでは知ることができない情報を知りたい。就活雑誌に書いていないものをインタビューなどして聞きたい。
- インターン(ベンチャー)について知りたいです。
- 働く様子や雰囲気を知りたい。
- インターン情報。
- 外国人採用をなさっているか知りたかったです。
- インターンシップなどの企業体験があるのかについて知りたい。
- 各企業でどのような人材が求められているか。
- 採用したい人、したくない人の差。もっと地元の会社を知りたい。
- 専門(教育や保育系)を学んでいる人でも、積極的に採用しているのかを知りたい。
- ゲーム開発関係のお仕事がとても面白そうだった。また、質問が弾むようにするためにも、企業の魅力などを最初に簡単に教えてもらえるとありがたいと思った。
- e-sports関係の会社の形態についても聞いてみたかった。今回、いろいろな業種の会社が集まっていたので、尚更その思いが強まりました。
- 上でも述べたように、各職種の個々の内容よりも、“働く”ということへの姿勢や働く上で大切なことを知りたいです。また、ビジョンがないので根底を教えていただけるととても助かります。
- さまざまな職種にお話を聞きたい。また、同じ職種でも違いを聞けるような交流会があったら知りたい。
- 若い社員の方をお招きいただければ、私たち大学生のこの時期のリアルな悩みなどを、より密に共有できたと思います。本日はありがとうございました。
- 文系、理系関係なしに自分が行きたいところに行きたいのですが、可能ですか?
- インターンシップが気になります。今日参加していない福岡の企業もいろいろ知りたいと思いました。
- 実際の工作内容。業務の流れをもっと教えていただければいいなと思います。
- 聞きそびれたことが1つだけあり、東京から福岡の会社に移った方がかなりいたので、福岡で働きたいと思ったのはなぜか教えていただきたいです。
- 留学生を積極的に採用する会社の情報が欲しい。
- 仕事内容だったり、量、時間など、その会社のことをできるだけ詳しく知りたい。
- インターンシップの期間。
- 企業のいいところ(強み)を知りたいです。仕事で大変なことは何ですか?
- その会社に入社した理由、仕事内容(具体的に)。

2019年度アンケート④「第2回 企業×大学生交流会(12月実施) 参加企業向け」 (回答数=9)

質問① 交流会の満足度を教えてください。



質問② 交流会の時間はいかがでしたか?



質問③ 交流会に参加していかがでしたか?

- ほぼ絶え間なく学生側からの質問があり、会場の雰囲気もラフで良かった。
- 雰囲気や学生さんの意欲がとても高く感心したから
- 折角なので学生全員と交流できればより良かったです。
- 全体的に良い会だったと思います。参加学生の年齢層やレベル感的に、質問例の提供などの運営サイドのサポートが非常に役立ったのではと感じました。
- 普段接する機会の無い、他分野の学部的大学生と意見交換する場を持つことができ、また一部の学生は弊社の事業内容にも興味を持ってくれました。参加企業としても刺激となりました。また、2年連続で参加してくれた学生から、1年目に聞いた話が興味深かったので、再度参加したとのコメントがあり、学生側にとっても得るものがあることがわかりました。
- 会社の認知向上には効果があったと思う
- 1年生から4年生までたくさんの学生さん参加されていたので、フリータイムを増やして聞きたい企業の話聞きにいける機会があっても良いのかなと思いました。
- 内容は、良かったです、お腹すきました。

質問④ 大学生からの質問で、印象的だったものはありますか？

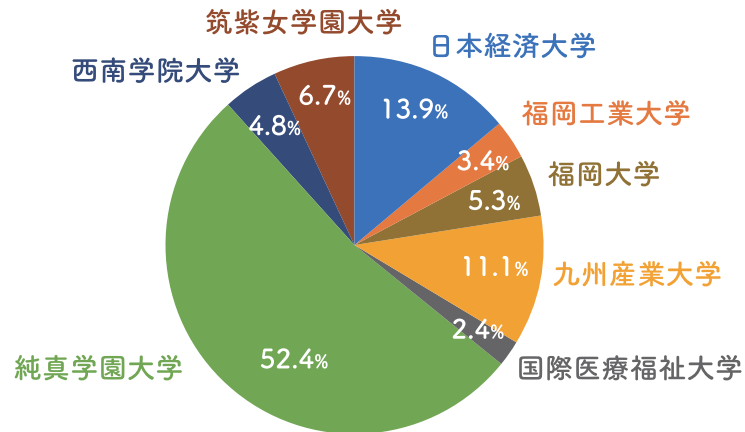
- 学生のうちにやっておくべきこと・やっておいた方が良いことは何ですか？
- どんな仕事しているのか(自分に対しての質問は一つだけでしたので)
- ごく普通の質問しかありませんでした。
- 「社員の中の外国人の比率と、具体的な仕事内容を教えてください」→ほぼ全てのターンでこの質問が出ました。
- 「年上の人とうまくコミュニケーションが取れません。どうしたらいいですか？」→このような人生相談(?)的な質問もちらほらいただきました。企業や就職という主旨から少し離れた内容だったので面白いなと思いました。
- どのように就職活動を進めたら良いかといった基礎的な質問が比較的多く、一般論としての回答に留まってしまい、福岡での就職を促進させる取り組みの中で、十分な回答ができたかはなかなか自信がないところです。
- 仕事のやりがい
- チャレンジとは何かと問われたこと。

質問⑤ 交流会につきまして、改善すべきと感じられた点があれば教えてください。(自由記述)

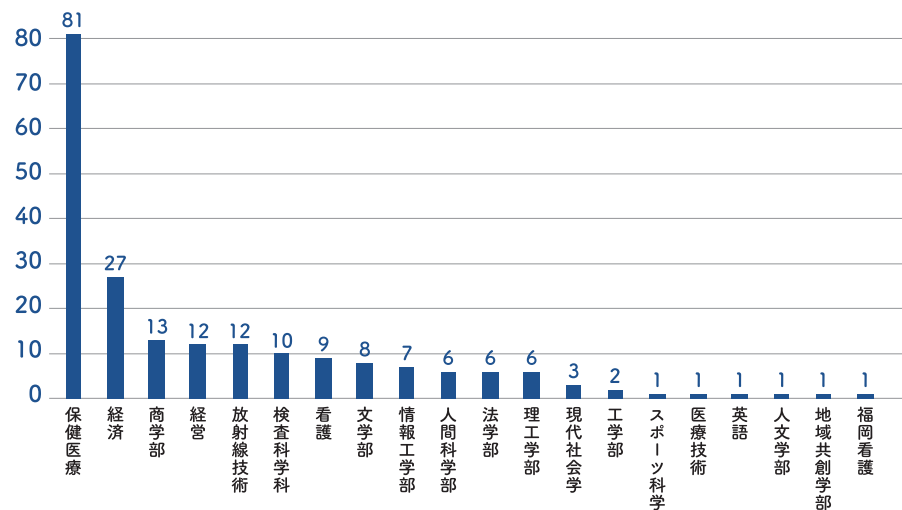
- 学生のスケジュールはわかりませんが、開始時間を早めるか土曜日開催でもう少し時間を多くして頂きたい。
- 最後のターン以外の回について、学生が話を聞きたい会社を選べないのは少しかわいそうな気がしました。時間切れで質問しきれなかったのか、最後にぶら下がり対応を何名か行ったので(弊社に限らず本当はもっと話を聞きたい会社があったのでは、と思います)。事前に興味がある会社のアンケートを取るなどして、なるべく全員が聞きたい会社に1回+α座れるチャンスが作れるといいなと思いました(すでにそのように対応されているのでしたらご放念ください)。
- 学年がまだ1年～2年生であることもあり、一般論としての質問が割合として多かった気がします。福岡で働くことの良さ等に関する意見交換ができる仕組みがあると、より地方での就職のメリットが伝えやすくなるかなと思いました。
- 質問集をお配りいただいていたので、質問に詰まった際でも困らずに学生さんから質問いただくことができたので良かったです！
- 他社さんに行くことがなかなかないのでLINE FUKUOKA 様で実施いただき新鮮でした!ありがとうございました!
- 19時から21時で実施するならば、サンドイッチ程度の軽食があると良い。

2019年度アンケート⑤「福岡市内大学生向け web サイトの印象についての調査」(回答数=208)

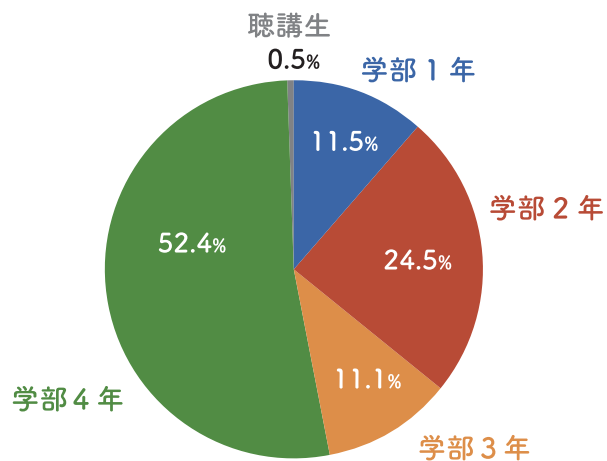
質問① 大学名



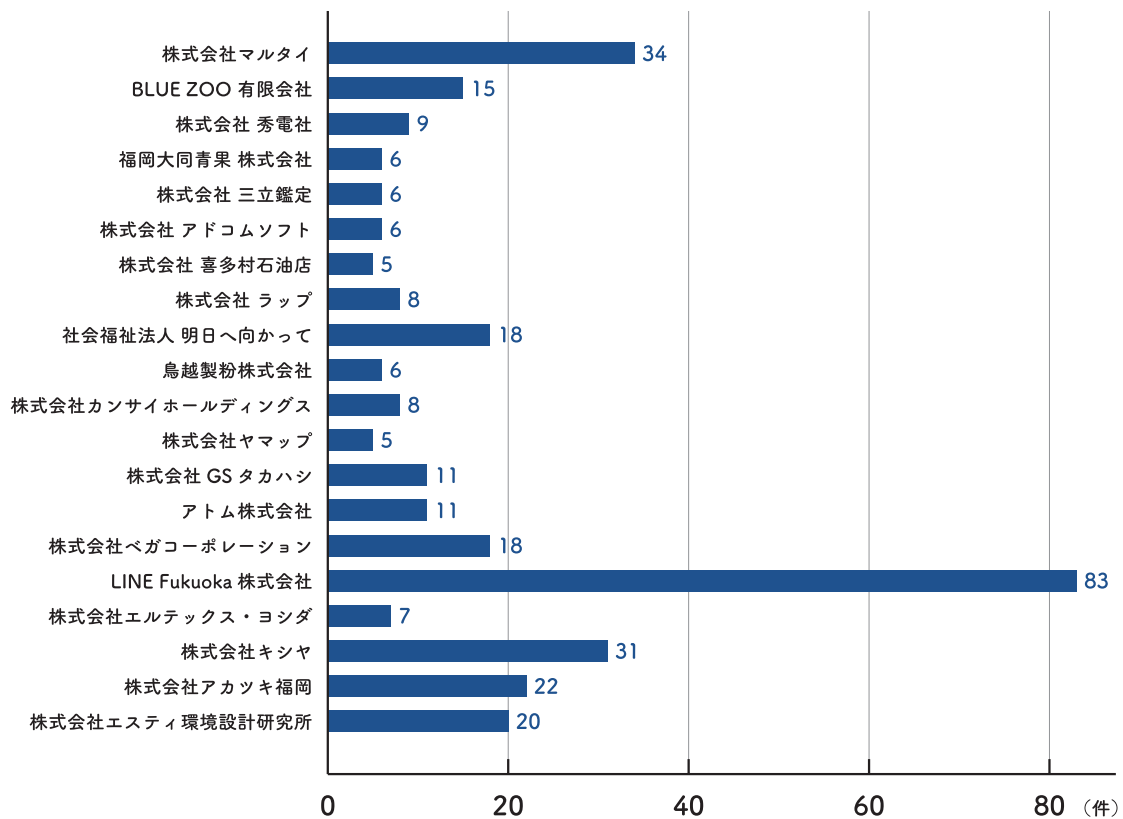
質問② 学部



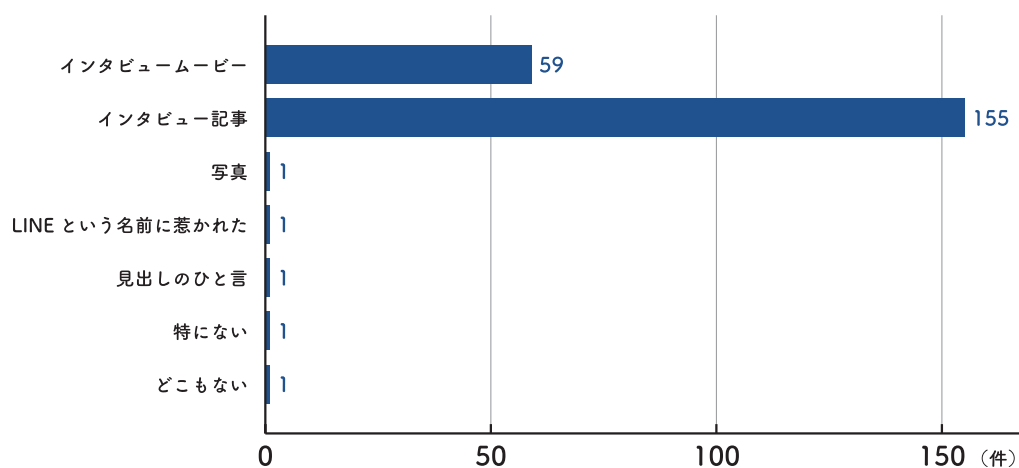
質問③ 学年



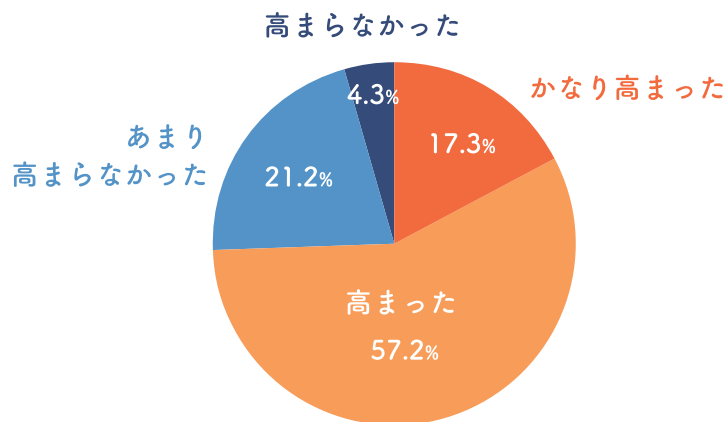
質問④ どの記事を読みましたか?(複数回答可)



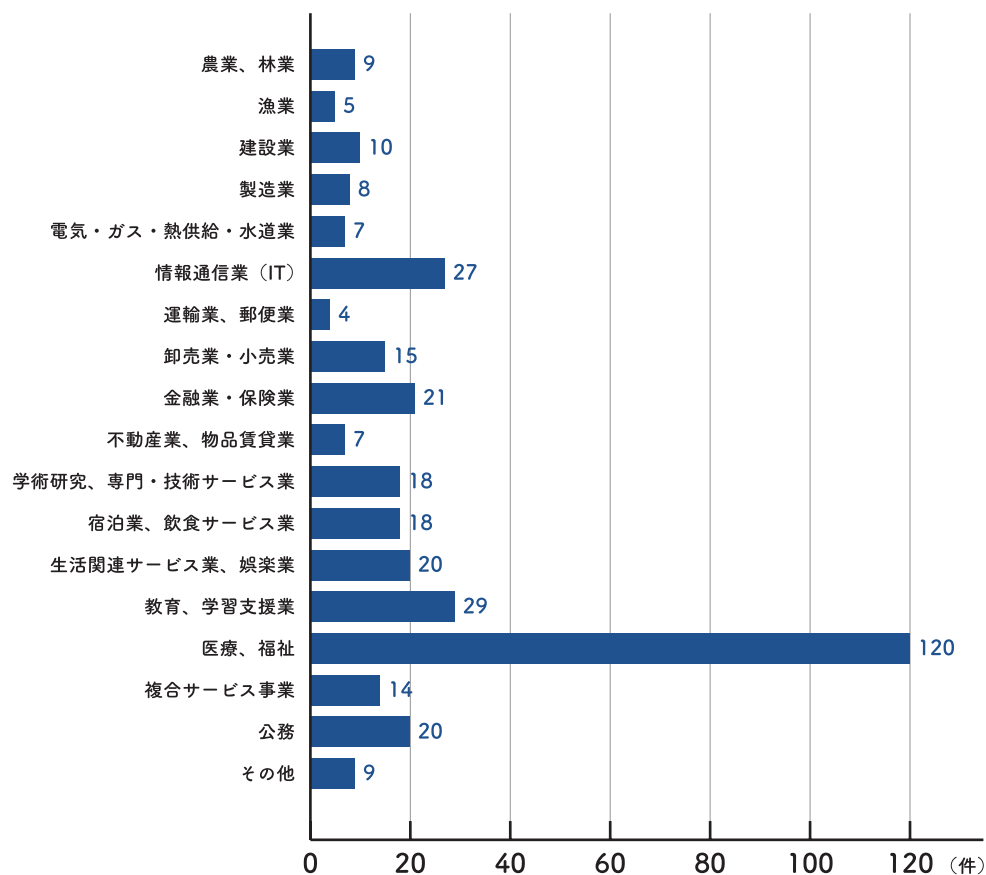
質問⑤ 興味を惹かれた部分はどこですか?(複数回答可)



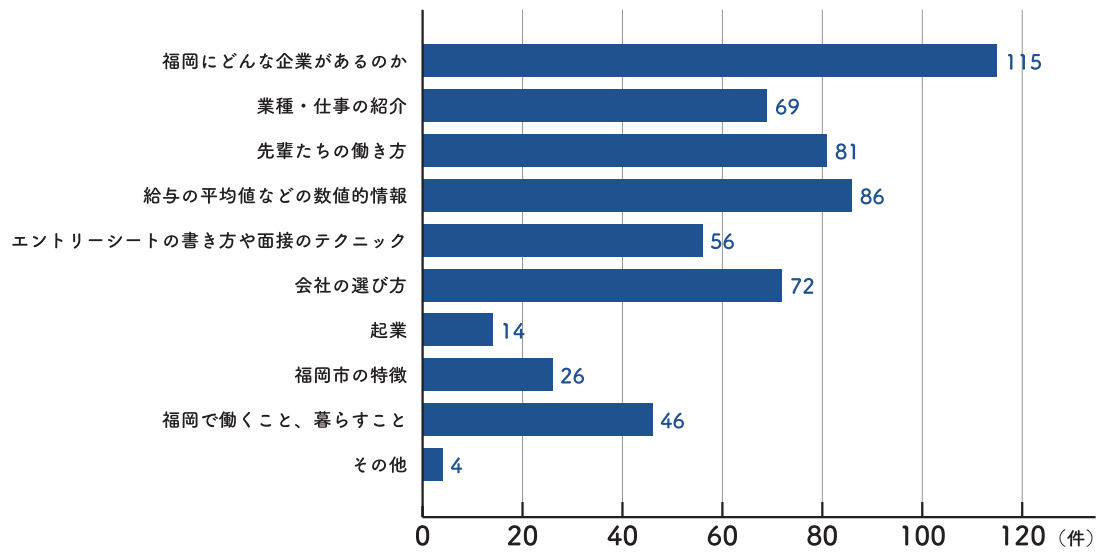
質問⑥ 「はたらくふくおか」を見て福岡の企業に興味・関心が高まりましたか？



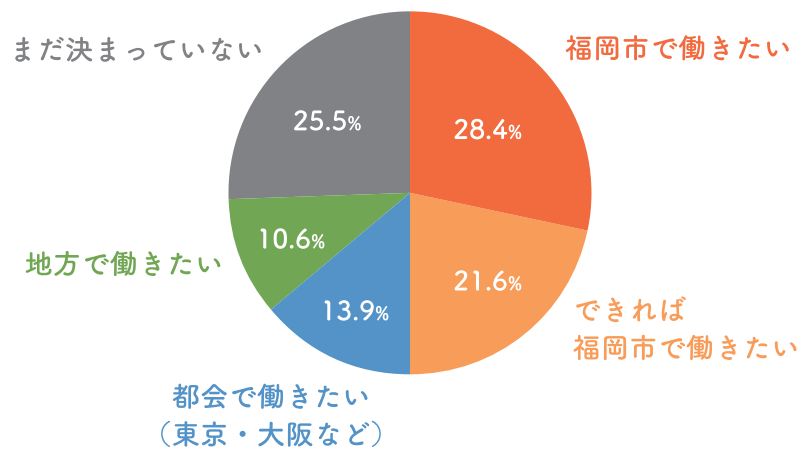
質問⑦ あなたの興味のある業種や知りたい業種を教えてください



質問⑧ 就職に関してあなたが気になる話題を教えてください。(複数回答可)



質問⑨ 卒業後の進路はどのように考えていますか？

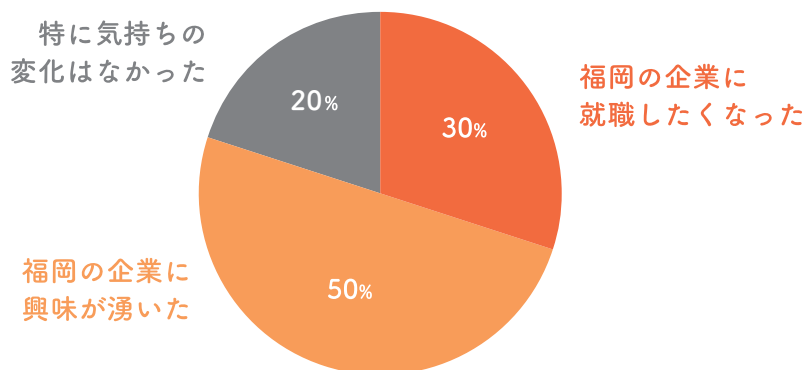


質問⑩ はたらくふくおかを読んだ感想や改善点などを教えてください(任意)

- 医療系のインタビューが見たい。
- 記事の内容はとても親しみ深く、読みやすかったです。自分が就職に対してまだ積極的ではないせいもあるかもしれませんが、正直『知らない、どの会社が自分が求める職種やサービスを提供しているのかわからない』『どの記事から見たらいいかわからない』というのが一番の感想でした。
- 見出しの段階で、ざっくりとこんな仕事だよ〜という情報が企業名と並んでいたら、より自分の興味に合った企業さんを探せるかなと思いました。『こういう会社だと思ってたけど、意外とそんな仕事もするんだ!』という出会いもうまれやすくなると思います。
- もっといろんなところにおいてください
- 今まであまり知らなかったような仕事が知れてよかった。
- よくまとまっていたと思います
- 若い人はムービー見ない。簡潔にまとめたものを書いてもらって読みやすく、目も引かれると思う
- 実際に働いている方のインタビュー記事が載っていてとても参考になりました。
- 知らないことが多かった。
- 様々な業種の仕事に関するリアルの声が載っていて読んでいて面白かった
- 一部有名企業以外は知らない企業が多く、福岡にもいろんな就職先があるのだと知れておもしろかった。ただ、福岡はベガさんのようにベンチャー企業やスタートアップも多いと聞く。だから、どれほど活性化していて、どんな事業が福岡から生まれているのかも興味がある。都会に負けない魅力ある福岡が見れるのを楽しみにしています。
- 自分の就職の視野が広がった。
- 学生側からの意見を、もっと聞いてみたいと思いました!
- とても見やすい記事になってるんだけど、表紙で選ぶときに興味を引く表紙じゃなかったからどれを見ればいいのかわからなかった
- 福岡LINEについてきじを見たがインタビューが長すぎて途中で見るのを諦めた
- よくわかりやすかった
- とてもよかったです。
- この仕事を選んだ理由からこの仕事を通して得られたものがインタビュー形式で分かりやすかった。興味が惹かれた。
- たくさんの企業を紹介してるのだから業界や業種で分類した方が良い
- 良い取り組みだと思う
- 色使いが見やすかったです。

2019年度アンケート⑥「大学生編集部向けアンケート」(回答数=10)

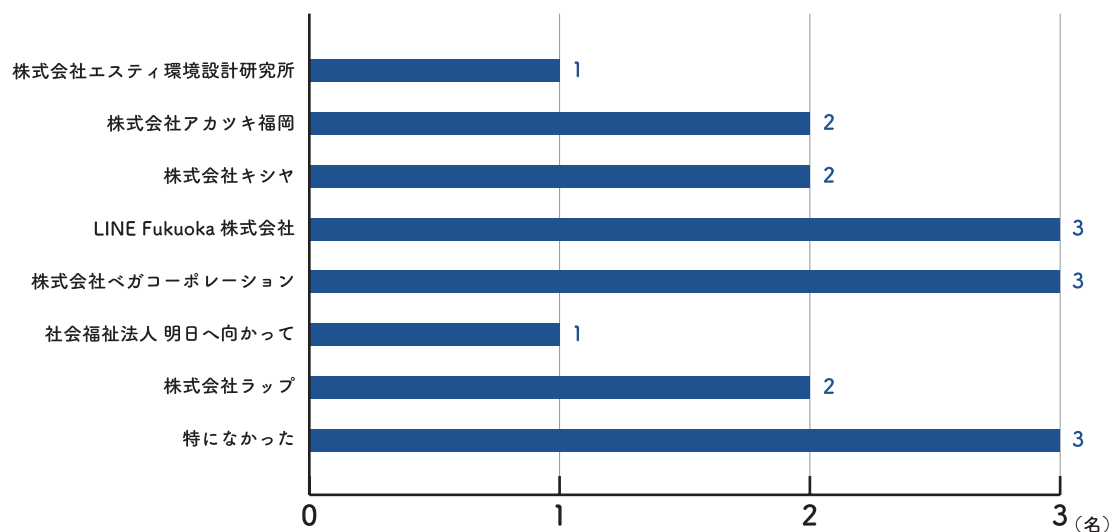
質問①-1 福岡の地元企業に対する印象は変わりましたか?(選択式)



質問①-2 「①-1」の印象の変化について、どう変わったか具体的に教えてください。(自由記述)

- 大きな事業に参加しているのは有名な企業さんだけじゃないのだなと思った
- 福岡は企業が少なく、給料も少ないというような理由が挙げられ、周りの人から大阪か東京に行った方がいいと常に言われていました。しかし、知らなかった福岡の企業を知り、取材を通じて企業に深く触れる機会をいただき、必ず福岡で就職したいと思いました。
- 今までは関東に出た方が仕事があると思って上京も考えていたけれど、福岡にもたくさん魅力的な仕事があると知り、先に福岡中心で就職活動してみようと思った。
- 今まで自分が知らなかっただけで、福岡には魅力的な企業がたくさんあることを感じました。もっと地元の企業にも目を向けいきたいなと思います。
- 「上京＝夢」が僕も含めた同世代の人達に広く共有されていました。いくつかの要因がある中で、福岡の一企業との接点を持つ機会の少なさが大きく占めていると感じました。学生は社会についての経験も知識も少ないので、いつかの印象やネームバリューで判断してしまう傾向が強いと思います。
- 福岡で企業に取材させていただいて、企業研究ができて良かったが、地元(大分)に就職しようという気持ちは変わらなかった。
- 自分の知らない業界や企業のことが知れて良かったが、元々どの地域や業種にもそれぞれの良さがあるのは知っていたので気持ちの変化はなかった。
- 実際に企業の方とお話したことで、「働く」ことについて少し前向きに考えられるようになった。福岡は人と人、企業と企業の距離が近いので、様々な人、企業とスピーディかつ密な関係を築きやすいことが魅力だとわかった。
- 元々就職は福岡志望でしたが、さらに福岡で就職したいと強く思いました!

質問②-1 取材した(記事を読んだ)企業の中で、就職先の選択肢の一つとして考えてみようと思った企業はありましたか?(複数選択可)



質問②-2 その理由を教えてください。(自由記述)

- 私は記事を書くという所に興味を持っていたから
- 敷かれた道を歩くのではなく、私たちが道を敷いて行くのであるという職員さんのコメントに一番感銘を受けました。また、社員が一番の自慢と仰った社長、互いの発言を尊重する環境を作ることが大事と仰った職員さんからは暖かい社風を感じることが出来ました。取材を通じて、このようなことを聞くことが出来たので、ベガコーポレーションに就職したいと思いました。
- 明日へ向かってさんの仕事内容は元々興味のある分野だったからで、キシヤさんは実際に取材してみて若手社員の方々が生き生きと働いている姿を見て、素敵だなと思ったから。
- 実際に企業側の人と接してみたり、インタビューに行った企業さんが、すごくいい人ばかりで、質問にもきちんと答えてくださっていいなと思いました。働いていて楽しそうな人たちで、私もこんな環境で働きたいと思いました。
- 福大の先輩や近隣の大学の卒業生を多く雇用しており、自分の興味の業界だから。
- 若手社員さんのお話を聞いたときに、自分がしたいと思う仕事の内容と近く、また会社で訪問させていただいたので雰囲気の良いと感じることができたため。
- まだどの企業に対しても、実際に自分が働いているビジョンが湧かなかったから。
- 福岡を拠点として、福岡(や全国、世界)をよりよくするために、前向きに新しい取り組みを行なっている点
- 自分が取材させていただいたから。

質問③ はたらくふくおかに参加して(記事を読んで)役に立ったことを教えてください。(自由記述)

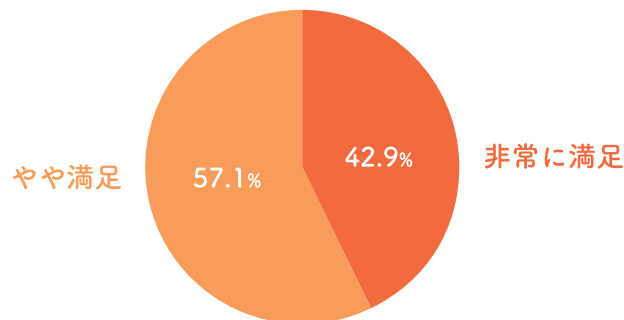
- 記事づくりの方法が知れた
- 福岡に素晴らしい企業がたくさんあることを知りました。企業説明会などの行事より、近く深く企業と接することが出来ました。
- 今まではCMとかに出てくるような馴染みのある会社しか知らなかったけど、名前は知らなくとも身近なところで生活を支えている会社がたくさんあることを知り、世界が広がった。また記事の作り方の一つの方法として、全て文字に起こし印刷してから、切り貼りしていくと作りやすいということを学んだ。
- はたらくふくおかで他大学の人と会うことが多く、就活などを意識するようになりました。また、この活動で色々な人(目上の人など)と話す機会があったおかげで面談やインターンなどで企業さんと会ったときにあまり緊張しなくなりました。積極的に質問したり、会話をすることが少し上手くなったと感じました。様々な人の大学生の時のお話や仕事への考え方を聞いて、自分とは違う考えや視野の人がたくさんいて人生の勉強にもなりました。
- 社会人目線と学生目線では、多少なりとも認識や意見の乖離が生まれてしまうので、その両方を得られるのは非常に有効だと感じました。
- 会社に訪問したり、社員さんと話さないとわからないこと、普段教えていただけないことを、取材して記事を通して詳しく知ることができたことが、今後の自分のキャリアプランに役に立ちました。
- 1番は自分に馴染みのなかった業種に関わる機会を貰えたことだ。自分で実際に企業に出向いたり、記事を読んだことにより就職活動の企業選択においてプラスに働く知識を得ることができた。
- 今まで知らなかった企業や業種を知ることができたことも大きな収穫の1つですが、何よりたくさんの方の社会人の方と関わり、色々な働き方や生き方を知ることができたことが良かったです。
- 社長だけでなく新入社員の方にも話を聞けたのでリラックスして会社について詳しく知れました。

質問④ 就活や仕事・働き方などに関して、あなたが知りたい情報を教えてください(自由記述)

- 休みが取れるのか
- 留学生のための就職情報がより手に入ればいいなと思いました。
- 就活をしてきた先輩たちが就活の時期をどう過ごしてきたのか、やってみたいことなどを体験談を元に聞いてみたいです。
- 社風
- どのような仕事をしているのか
- 働いてみてのギャップや、会社の弱み
- 口コミやサクラ無しの、直接社員さんにインタビューした労働の満足度やリアルな残業時間など
- 働いている方のやりがいであったり、今の目標、10年後にこうなりたい!という目標など
- 何をしたい会社にはいったのか

2019年度アンケート⑦「取材企業アンケート」(回答数=7)

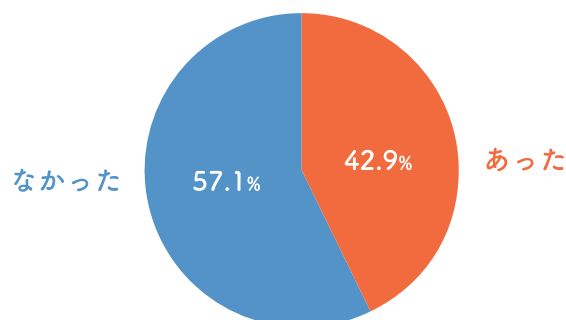
質問① 取材・記事内容について、御社の魅力や特徴を伝えられるものになっていましたか？



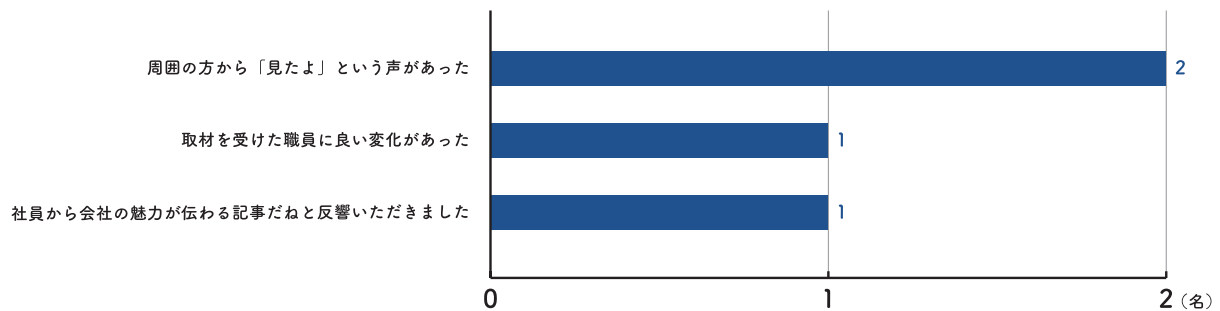
質問② ①の選択肢を選ばれた理由について教えてください(自由記述)

- 学生目線で知りたいことを聞いていただけた分、納得感を持って頂きやすい内容になったと思う。
- ばらばらとお話してしまいましたが、非常に丁寧にまとめて頂いていたと思います!ありがとうございました!
- J:com 動画のほうが、会社概要部分しか伝えられていなかったような気がするので、少しもったいなく感じました。
- 取材内容は大変すばらしい内容でしたが、一般的に馴染みの業界ですので、こちらとしてきちんと伝える内容をお答えできているかについては若干自信がないため。
- 満足しているから
- 学生さんから直接質問いただき、リアルなお話ができたとと思います。不躰な提案で恐縮ですが、現場の撮影をされる場合は事前に言っていただけると撮影がスムーズにいくかと思います。
- 社外の方々から声かけをいただいた。

質問③ 記事の効果・反響などありましたか？



質問④ ③で「あった」とお答えいただいた方にお聞きます。それは、どういった内容でしたか?(複数選択可)



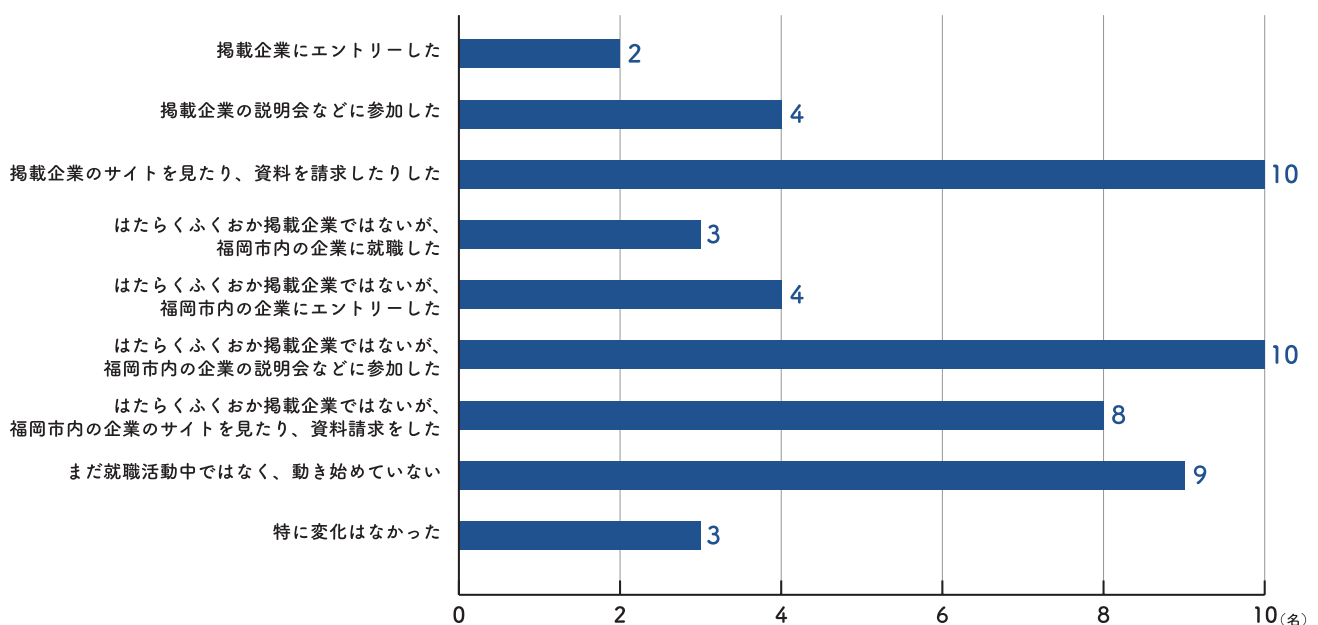
質問⑤ 取材を受けて、改善すべきと感じられた点があれば教えてください。(自由記述)

- 特にありません。学生様にとっても企業にとっても素晴らしい企画に参加させていただき感謝しております。
- 特にありません。ご丁寧に取材していただき、ありがとうございました!

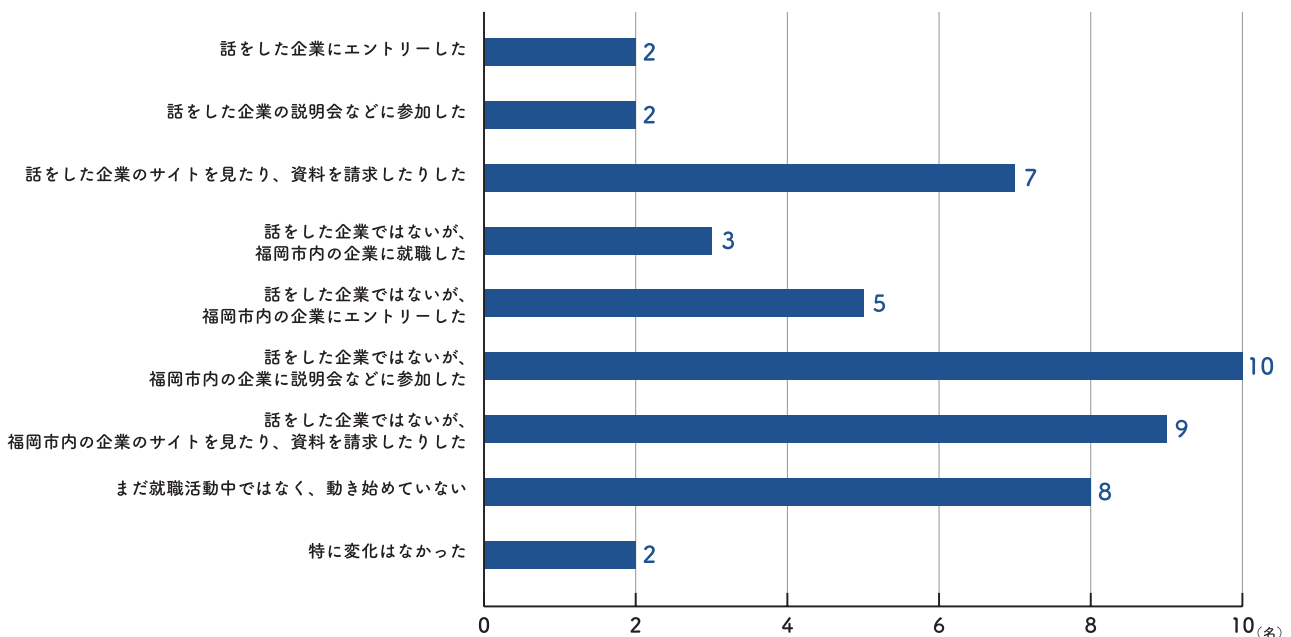
2019年度アンケート⑧「はたらくふくおか最終アンケート(3年分の編集部メンバー・交流会参加者向け)」(回答数=26)

3年間の活動の総括として、2017年度から2019年度の間に事業に参加いただいた大学生に向けて、追跡調査を行いました。

質問① 「はたらくふくおか」のwebサイトを見て、あなたの就職活動に変化があったか教えてください。(複数回答あり)



質問② 取材や交流会に参加し、地元企業の方と話をしたことで、あなたの就職活動に変化があったか教えてください。(複数回答あり)



質問③ 就職の時に決め手となった事を教えてください。これから就職する方は、現時点でもっとも重要視している事を教えてください。

- ☐ 仕事内容、社会貢献、給料、勤務地、休日日数
- ☐ その仕事が誰にどう役立つのか、どんな助けになるのかということ。自分がそこに携わりたいという気持ち。
- ☐ 自分のやりたい職種、会社の雰囲気や人の良さ、会社の価値観
- ☐ 福利厚生、有給取得率、残業代の有無及び残業するにあたっての自由さ
- ☐ やりたい分野の仕事に携わることができるか
- ☐ 自分の性格や特徴に合った仕事ができるかどうかをもっとも重要視しています。
- ☐ 業務内容が自分にあっているかを一番重視しています。アカツキ福岡さんの取材で、業務内容や1日の流れを説明していただいた時の顔がとてもにこやかで、仕事や会社のことが心から好きなのだとみてとれたためです。自分の良さを活かせる仕事に就きたいと考えています。
- ☐ 一緒に働く人
- ☐ 福岡で働く事が好きかどうか、郷土愛が強い会社を重要視しています
- ☐ やりたいことを実現出来そうな環境か?、一緒に働いていけそうな人柄か?、生活ができる勤務条件か?
- ☐ 上の①と②の質問に関してはもうすでに就活が終わってからはたらくふくおかに参加させていただいたので、特に変化はありませんでした。就職のときに決め手になったことは自分のやりたいことが実現できる仕事であるかどうかということです。私は人の夢や生活をサポートする仕事をしたかったので間接的にでもそれが実現できる仕事ということで決めました。あとは、人事の担当の人がとても自分にとって良いと思える人であったことも決め手になりました。
- ☐ 企業理念

>次ページに続く

○社内の雰囲気です。実際に取材して、パワーがある社長さまとお話することが出来て、トップの方のお考えを知ることが社内の雰囲気ややる気作り、これからの企業のあり方という点で重要で、実際に働く若手社員の方のお話も現場の生の声で、とてもになりました。就活時には、その企業に勤める方としっかり話して、お互いにミスマッチが起きないように、自分を高めようと思います。

○やすみの日数、残業の頻度、有給のとりやすさなど

○たくさん仕事ができ、早く成長できるか

○内定までのスピード感。

○人間関係

○はたらくふくおかに参加して、福岡の企業は人と人・企業とが密にスピーディなコミュニケーションを知って、私もそこを重要視していきたいと思っています。

○職場の雰囲気

○インターンや説明会に参加して、企業の雰囲気やどんな社員さんが働いているかなどのホームページやパンフレットではわからない部分を重視しています。(自分の性格などに合う企業か)

○働いていて自分が成長ができそうな企業なのかを見えています。

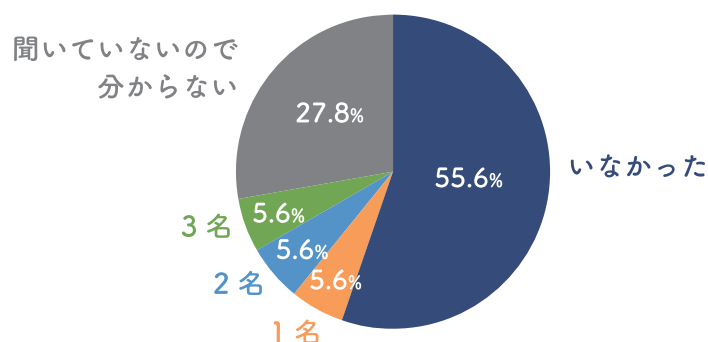
○その環境で働くにあたって、新しく入った人などが居心地のいいと思うような職場作りを社長や先輩社員がしているかどうか

○勤務地、何をしている企業か(名前だけでは業務内容がわからないところは特に)

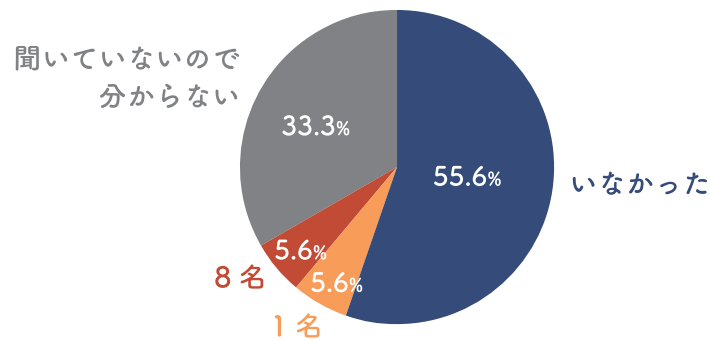
2019年度アンケート⑨「はたらくふくおか最終アンケート(3年分の取材企業向け)」(回答数=18)

3年間の活動の総括として、2017年度から2019年度の間に取材させていただいた企業に向けて、追跡調査を行いました。

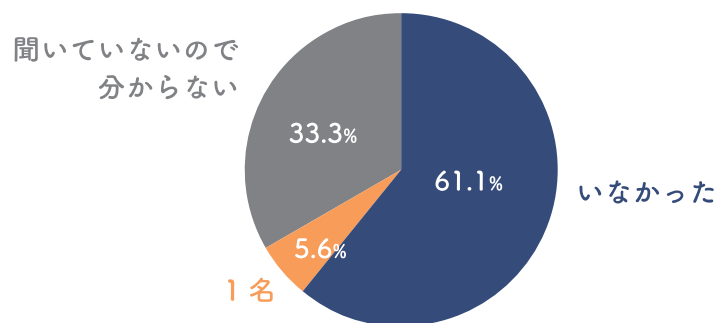
質問① 「はたらくふくおか」のwebサイトを見て、御社にエントリーされた学生はいましたか？



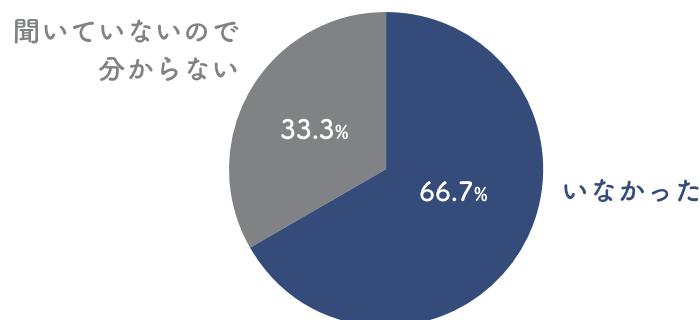
質問② 「はたらくふくおか」のwebサイトを見て、御社のインターンシップや説明会、見学・訪問などに参加した学生はいましたか？



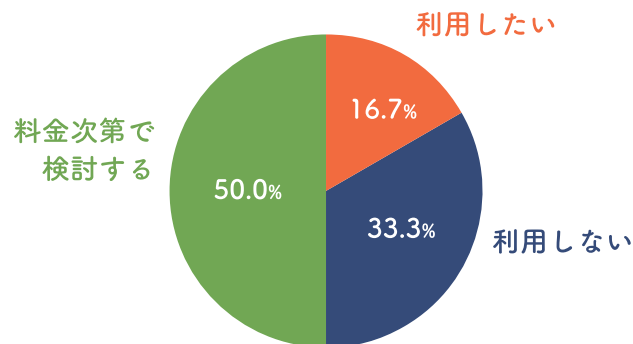
質問③ 「はたらくふくおか」のインタービュアーや交流会参加者の中で御社にエントリーされた学生はいましたか？



質問④ 「はたらくふくおか」のインタービュアーや交流会参加者の中で、御社のインターンシップや説明会、見学・訪問などに参加した学生はいましたか？



質問⑤ 「はたらくふくおか」でのサービス(取材・動画&記事作成・放映・交流会への参加)が有料だとした場合、利用したいと思いますか？



質問⑥ ⑤で「利用したい」「料金次第で検討する」とお答えいただいた方へお聞きします。サービスの金額はいくらなら利用したいと思いますか？

- ☐取材・動画&記事作成・放映は利用しないと思うが、交流会参加は5000円くらいなら参加したい。
- ☐動画作成費20万以内、交流会は有料だといかないと思います。費用をかけてのリターンが薄いので。ほとんど学生のためのボランティア的なイメージです。
- ☐内容にもよるので具体的な金額は難しい。どれ位の登録者がいるかなど情報が必要。
- ☐具体的な金額はわかりませんが、相場より安いと手軽に利用できるのではないかと思います。
- ☐5万円
- ☐サービス内容によって異なるため一概には申し上げにくいです。
- ☐社長に確認が必要。個人的には20000円～
- ☐相談次第
- ☐10万円程度

質問⑦ ⑤で「利用しない」とお答えいただいた方へお聞きします。大学生に向けた取り組みで、どのような内容なら有料でも依頼したいと思いますか？

- ☐本サービスはどちらかと言えば文化系向け。理科系学生も積極参加するようであれば良い。
- ☐有料は全く検討していません。超格安料金なら会社紹介を検討するかもしれません。
- ☐学生の地域や大学を限定しない内容のもの(折角のWEB利用なので)
- ☐学生との「接点の場」ではなく継続して学生と一緒に取り組める施策があれば良いなと感じています。企業側も点ではなく福岡の土地を生かした、面で何かを仕掛けていけると良いのかなと思っています。

質問⑧ 地元企業に福岡在住の学生が就職するために、行政や公共団体へ期待する事業や活動について教えてください。

- 大学関係にアルバイト先として紹介するような仕組みをつくって欲しい
- 周知が足りない。学生はほとんど知らなかったと思う。
- 例えば、全ての大学に提供して閲覧してもらえるように活用量を増やして欲しい。
- 学生に対して何かメリットがあれば目を向けるのでは。何かインパクトが無ければ難しいと思う。そもそも福岡市は全国的に人気の街であり、ある意味では活動等は何ら必要ないのかも知れない。
- 地元企業(福岡県に事業所がある)のみが参加できる合同企業説明会の開催があるといいかと思います。
- 事業が3年単位で終わるものが多いため、ぜひもっと長く継続していただきたいです。
- 合同説明会の開催やイベント等を開催していただけたら嬉しいです。
- 地元の中小企業だけを集めた合説イベントを早期で実施して頂けるなどがあれば幸いです。
- 企業紹介に絞った学生との接点を増やす企画。
- 合同企業研究会のような、リアルの場で幅広い学生に地元企業を紹介できる企画
- 福岡での魅力的な生き方をしている人にどんどんとスポットを当てること
- 様々な業種や手に職をつけられる可能性があるということを、交流会やSNS、オンライン面談などでつなぎあえたら、。
- 中小企業の現状を理解して欲しい
- インターンなどへの補助金の拡充
- 大学生と、企業が接点を持てる場をさらに増やしていくこと。

質問⑨ その他、お気づきの点や、今後の取り組みに対するご要望がありましたら、ご意見をお願いいたします。

- 学生ではなく、業界の人たちから評判がよかったです。当社としても、この取り組み自体は非常に素晴らしく、出来れば継続してもらえたらと思いました。学生への地元就職の意識付けと各業界への就労意識付けは絶対行っていかなければならない活動だと感じていますので別の取り組みを今後は是非ご検討ください。よろしくお願いいたします。
- 福岡市は元気の良い街であり、自信を持って学生にPR出来る都市だと思う。特に学生に声かけしなくても、自然と集まるのではないのでしょうか。(総合的な話)
- 学生さんが実際に企業を訪問して取材を行ったり、企業の採用担当者と交流したりすることは、学生さんにとっても、採用担当者にとっても、有益な情報を得ることができて良かったと思います。この度は、ありがとうございました。
- 素敵な出会いと交流会ありがとうございました。
- きれいなHPを作成いただき、採用活動では非常に助かりました。学生から「求める人物像」について質問を受けた際は、はたらくふくおかHPに誘導し、当社の理解を深めてもらいました。
- 今回はこのような機会をいただき、ありがとうございました。福岡の企業として、もっともっと情報発信の場を増やしていかなければいけないと、課題を感じているので、またご一緒に何かしら取り組んでいけると嬉しいです。
- 取材やカフェの利用など、ありがとうございました。とても素晴らしい取り組みだと感じました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(8) 総括

事業の成果について

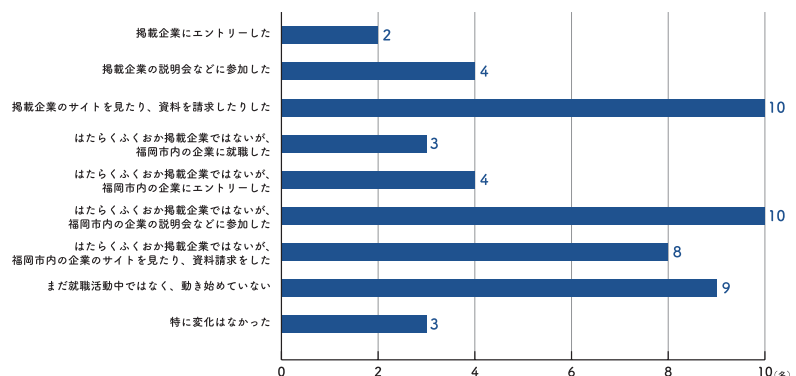
当事業では、福岡の大学で学ぶ大学生に向けて、「福岡に定着(就職)したくなる情報」を届けることを目的としました。大手企業に比べて、情報が集まりにくい地元企業の仕事内容や特徴を大学生にとって親しみやすい形式で伝えることで、多様な選択肢がある就職環境の創出と市内大学生等の福岡への定着促進を目指しました。

P44～49に掲載したアンケートは、3年間で取材をした企業のみなさんと、共に取材をしてくれた大学生のみなさん、そして交流会に参加してくれた大学生のみなさんに総括として実施したものです。1年目、2年目に参加してくれた大学生の皆さんは、アンケート依頼時には社会人となっています。最終的な成果を図る指標となる、こちらのデータから見てきた私たちの気づきをまとめます。

3年間の編集部大学生への調査結果(n=26)

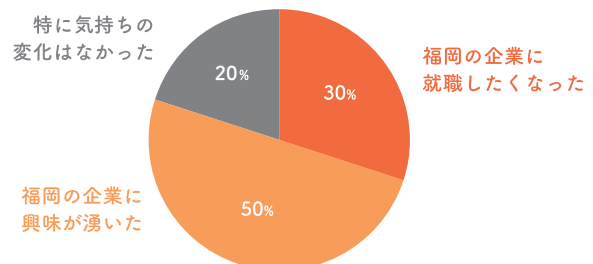
事業参加で生まれたアクション	該当者数
掲載企業にエントリー、説明会等に参加した	計6名
掲載企業のサイトを見たり、資料請求をした	計10名

編集部メンバー・交流会参加の大学生に向けたアンケート(P44～、2019年度アンケート⑧)では、はたらくふくおかの事業への参加を通して、福岡の企業への関心が高まり就職活動に関して変化があったかどうかを26名に調査しました。質問①及び②での回答から、はたらくふくおかでの紹介企業にエントリーした方が計4名、紹介企業の説明会に参加した方が計6名いたことがわかりました。また、紹介企業のサイトを見たり、資料請求をした方は、計10名いました。



掲載企業について、プロジェクトに参加する前は仕事内容や会社名も知らなかった状況から、就職先の一つとして挙げるようになるまで変化した大学生が上記の数いたことは、事業にとって大きな成果だと考えています。また、その他の回答からも、掲載企業ではないが、福岡市内の企業へ就職・エントリー・説明会に参加した方が計17名おり、地元定着への一翼を担えたと感じています。

上記のアンケート結果にはまだ就職活動を始めていない編集部大学生も含まれていますが、別の機会にとったアンケート(P40～、2019年度アンケート⑥「大学生編集部向けアンケート」)で、「福岡の地元企業に対する印象は変わりましたか?」という項目に対し、全体の80%の学生が「福岡の企業に就職したくなった」「福岡の企業に興味を持った」と回答してくれています。この質問は参加してくれた大学生に、毎年聞いていますが、いずれも同回答が80%を超えていました。



3年間の取材企業への調査結果(n=18)

事業参加で生まれたアクション	該当者数
「はたらくふくおか」を見て、エントリーした学生がいた	計6名
「はたらくふくおか」を見て、インターンシップや説明会に参加、見学・訪問した学生がいた	計9名
「はたらくふくおか」のインタビュアー・交流会参加者で、エントリーした学生がいた	計1名

取材企業向けアンケート(P46～、2019年度アンケート⑨)において、受入企業側にも、はたらくふくおかを見て、あるいは取材や交流会に参加してエントリーされた大学生の数を調査しました。結果として、計7名のエントリーが確認されています。また、説明会への参加は計9名が確認されています。(上記、編集部メンバー向けのアンケート結果と若干の差がありますが、おそらく未回答の編集部メンバー分だと思われます)

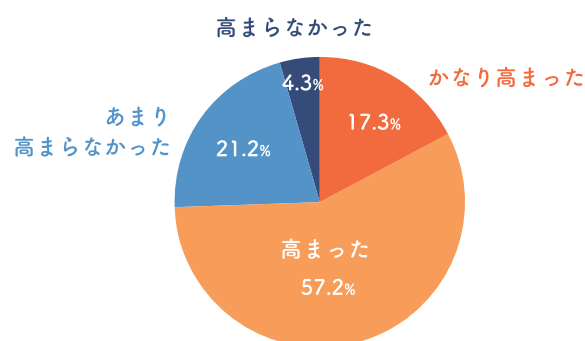
取材企業からの自由意見(P49、質問⑨)では、「学生さんが実際に企業を訪問して取材を行ったり、企業の採用担当者と交流したりすることは、学生さんにとっても、採用担当者にとっても、有益な情報を得ることができて良かったと思います」、「この取り組み自体は非常に素晴らしく、出来れば継続してもらえたらと思いました。学生への地元就職の意識付けと各業界への就労意識付けは絶対行っていかなければならない活動だと感じていますので別の取り組みを今後は是非ご検討ください」といった嬉しいご意見をいただきました。

事業の総括

はたらくふくおかでは、3年間で20社の紹介をしました。事業の特徴として、たくさんの数の企業を紹介するのではなく、1社ずつ大学生の目線を大切に、企業の魅力を掘り下げる手法を選びました。企業紹介の母数としては、決して多くはないですが、プロセスを共有しながら丁寧にすることで上記の結果がでたことは、前向きな成果として捉えています。編集部として関わってくれた大学生の皆さんにとって、福岡の企業が就職の選択肢としてあがり、実際に行動変容が見られました。

直接的に企業の方と話をする機会は、やはり大学生にとって意識変容のきっかけになると実感しました。各年度のアンケートでは、取材や交流会の機会があったことで初めて知った企業が多かったが、コミュニケーションをとって興味湧いたという回答も複数見受けられました。

また事業に直接関わりのない、webの閲覧者(福岡圏内、208名の大学生)に対して行った別のアンケート(P35～、福岡市内大学生向けwebサイトの印象についての調査)において、「はたらくふくおかを見て福岡の企業に興味・関心が高まりましたか?」という質問をしました。これについて、17.3%が「かなり高まった」、57.2%が「高まった」という回答をいただきました。自由記述の読んだ感想については、「記事が長すぎた」、「若い人はムービーを見ない」などネガティブな意見と、「知らなかった仕事を知れてよかった」、「様々な業種のリアルな声が載っていておもしろかった」といったポジティブな意見がありました。記事の見せ方やボリュームについては課題が残りましたが、事業の中核にある「現場ではたらく人の声を大学生目線で取り上げ、その魅力を伝える」という部分については、一定の成果があったと感じています。

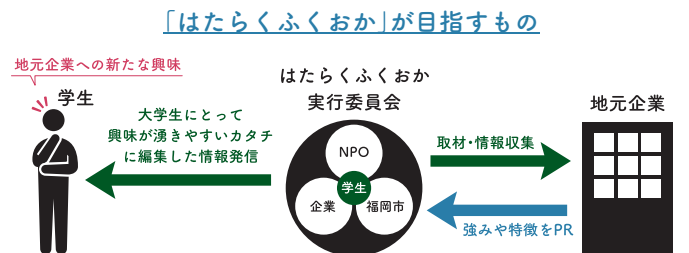
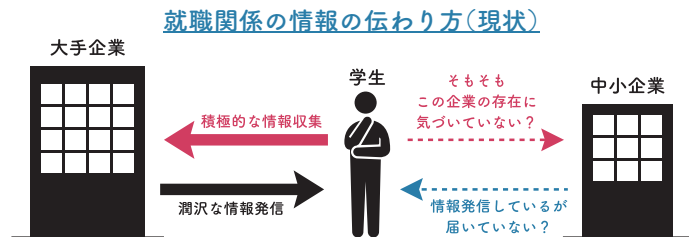


事業目的のふりかえり

はたらくふくおかでは、福岡の大学で学ぶ大学生に向けて、「福岡ならではの企業や職種の存在をPRすることで、多様な選択肢がある就職環境の創出、市内大学生等の福岡への定着促進を図ることを目的としてきました。

取材を通して、企業の皆さんからも「自社の存在や魅力を、いかにして学生に届けられるかは常に課題である」という声をよく伺いました。私たちは、その点を外側から見て、またターゲットでもある大学生の目線で見、魅力を伝えるというアプローチを実践しました。毎年実施してきた事業アンケートからも、webを見ていただいたり、事業に関わっていただく中で、当事業が福岡の企業への興味・関心を深めるきっかけのひとつになっている実感がありました。

最後によかった点と課題・今後の展望を以下にまとめます。



よかった点

(1) 地元企業と地元大学生との着実な接点をつくり、地元企業への興味を深められた

取材や交流会を通して関わりを持ってくれた編集部メンバーについては26名のうち6名が、取材企業へエントリーしました。密度の高い直接コミュニケーションの機会が、企業を理解し興味を深めるきっかけとなりました。交流会に関しては、2018年度、2019年度ともに参加学生の全員が福岡での就職に関して意識向上が見られました。各年度で実施してきたアンケートの回答からも、当事業への参加で福岡に魅力的な企業があることに気がつき、就職観に変化があったという意見がよく見られました。

また、編集部メンバーならびに交流会参加学生は、常に学年を問わず募集しました。これにより、就職活動に直結する事業という雰囲気にならず、働き方や仕事、企業に関する純粋な疑問を問うことができるようになっていました。企業と大学生が、できる限りフラットな関係で接点を持てるように調整を行ったことも、事業のねらいに合っていたように感じます。

(2) webサイトの閲覧者数が毎年増加した

2017年10月にwebサイトをオープンをし、常にユーザー数やページビュー(PV)をカウントしてきました。初年度は、目標達成に満たない1,741ユーザー(PV 6,088)でしたが、2年目は4,452ユーザー(PV 9,352)、3年目は11,161ユーザー(PV 19,860)と毎年、2倍以上で増加させることができました。コンテンツが徐々に増えるサイトのため、もちろん記事数が増えれば、閲覧者数の数も増えやすくなると思いますが、協力してくれた編集部学生との連携や、取材企業との連携、各大学へのアンケートの依頼などを通して、少しずつ認知を拡げることができました。

(3) 大学生が企業について知りたい話題、地元企業のニーズを聞くことができた

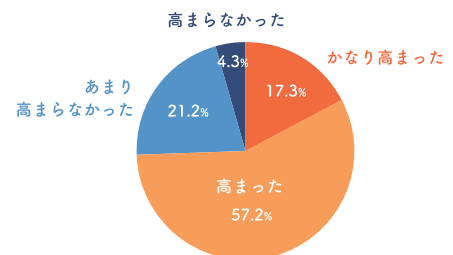
私たち事務局も、実際に大学生や企業の皆さんと話す機会をもつことができ、大学生はどんな情報が欲しいのか、地元企業が採用活動に対してどんな状況にあるのか、などの内容を聞くことができました。また、事業で都度アンケートを実施してきたので、そこでもそれぞれのニーズを一定数集めることができました。個々人の考え方も異なり、一つの正解があるものではないですが、両者の接点をデザインする事業を行う場合には、参考になるリソースを集められたと感じています。

課題と今後の展望

(1) webの周知拡大と読みたくなる工夫

webの閲覧者及びPVに関しては、前述の通り、毎年増加傾向にあり、目標値としては達成しました。しかしながら福岡市には、母数としてまだ多くの大学生がいるため、webを中心とした情報発信事業と考えると、周知に関してはより高い目標を設定し、周知を広げていく必要があると考えます。

2019年度大学生向けアンケート結果(P37)からも、HPを閲覧した学生の74.5%が福岡の起用への興味・関心が高まったと回答しています。内容については、実際に見てもらった大学生の皆さんからも好意的な意見が多く見られました。しかし、逆の意見として「文章が長すぎる」、「パッと見てどんな記事かわからない」、「若い世代はそもそも動画を見ない」といった内容もありました。こうした点には、改善の必要があると考えられ、企業の魅力を伝えることに終始するのではなく、大学生が日頃メディアとどのような付き合い方をしているかといった視点を、当事者から学ぶことが必要だったと考えています。今後、web等で情報発信をする際には、作り始める前にヒアリングを行い、当事者に届きやすい工夫を盛り込むよう検討します。



(2) 事業に積極的に関わる人数をいかに増やすか

着実な成果があった交流会の事業ですが、年に1〜2回の開催で、各会の定員も最大40名ほどでの実施となりました。交流会をきっかけとして意識変容が生まれたことは成果ですが、やはり事業の対象者数を増やすことが必要だと考えます。現況で考えるとするならば、新型コロナウイルス感染症予防の対策で急速に普及が進んできたオンラインセミナーも併用するなどして、参加できる人数を増やすことが重要だと考えます。

取材についても、やはり現場を訪れ直接質問ができた大学生編集部については「福岡のよさを直接伺えたことで、福岡に就職したいと思った」、「面白い企業は関東にしかないと思っていたが、福岡にもあることがわかり、もっと調べようと思った」、「今まで自分が知らなかっただけで、福岡には魅力的な企業がたくさんあると感じました」といった声があり、取材が強い体験として記憶に残り、就職観に変化を与えるきっかけになっていました。こうした取材のシーンでも、リモートで質問を投げかける時間をつくるなど、インタラクティブな仕組みを導入することで、少しでも事業に積極的に関わる人数を増やすことができると感じています。

(3) 福岡未来創造プラットフォームとの連携に向けて

福岡市としては、令和元年5月から、福岡都市圏15大学、商工会議所、中小企業経営者協会と一緒に「福岡未来創造プラットフォーム」を立ち上げ、大学生の地元就職につながる取り組みを推進しています。はたらくふくおかで見えてきた「大学生と企業ができる限りフラットな状態で、直接コミュニケーションをとること」が地元定着の可能性を高めるきっかけになるという結果を踏まえ、今後も交流会等の機会を企画していきたいと考えています。

また、はたらくふくおかとしての発信は終了するため、福岡未来創造プラットフォームが運営するwebサイト「DAiFuk. (<https://www.daifuk.net>)」に、取材記事を移行することも検討しています。